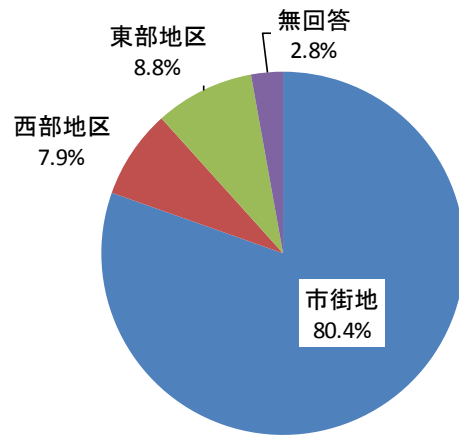


根室市新長期総合計画策定に係る「市民意識調査」分析結果

1. 地区別構成

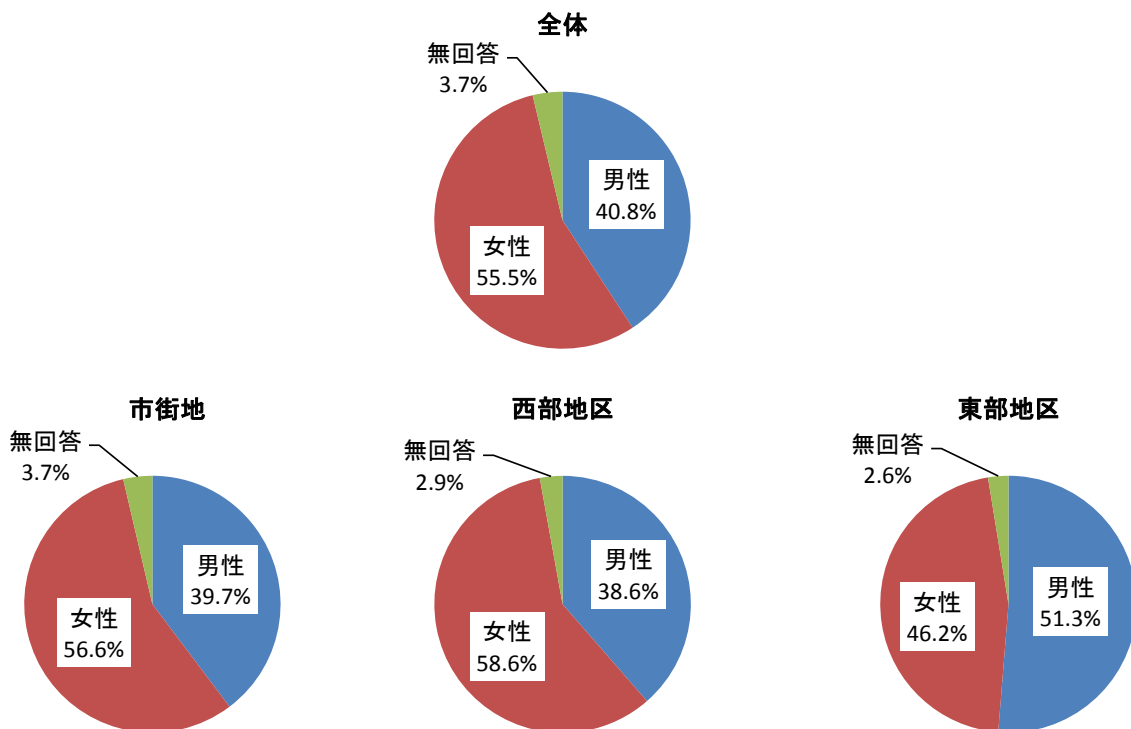
- ・回答者数の構成は、市街地地区住民が、全体の 80.4%を占め、西部地区住民は、7.9%、東部地区住民は 8.8%であった。



	市街地	西部地区	東部地区	無回答	全体
地区別件数	710	70	78	25	883
	80.4%	7.9%	8.8%	2.8%	100.0%

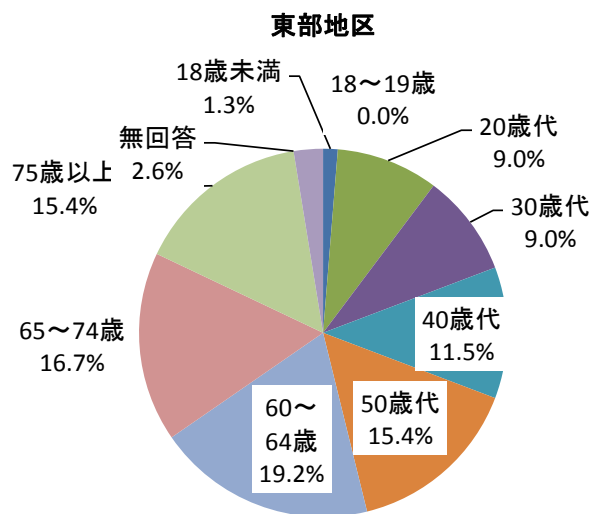
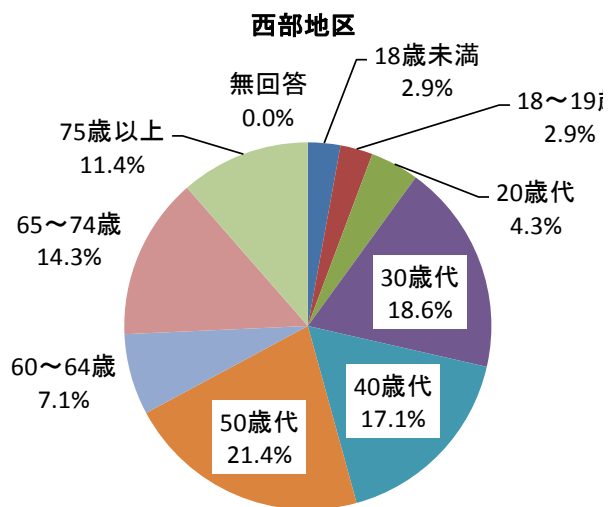
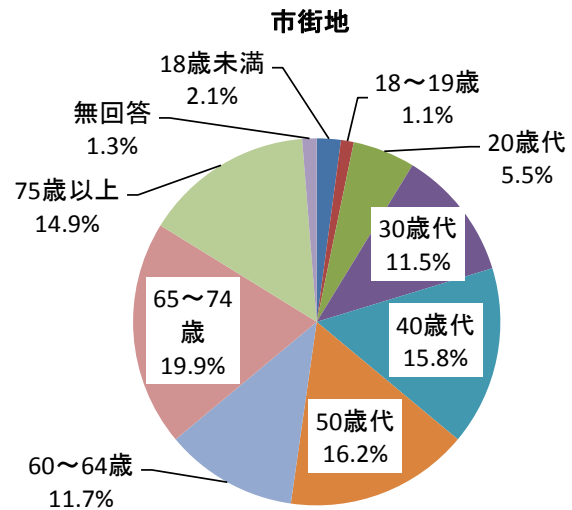
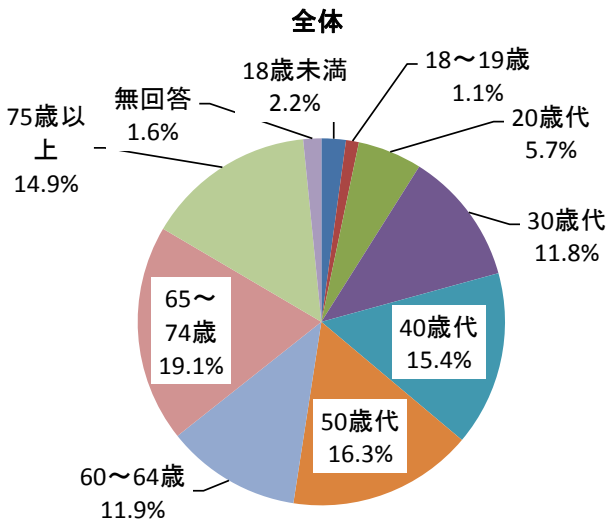
2. 性別構成

- ・回答者の性別構成は、市街地住民の 56.6%、西部地区住民の 58.6%、東部地区住民の 46.2%が女性であり、全体では、55.5%が女性、40.8%が男性、3.7%が性別不明であった。



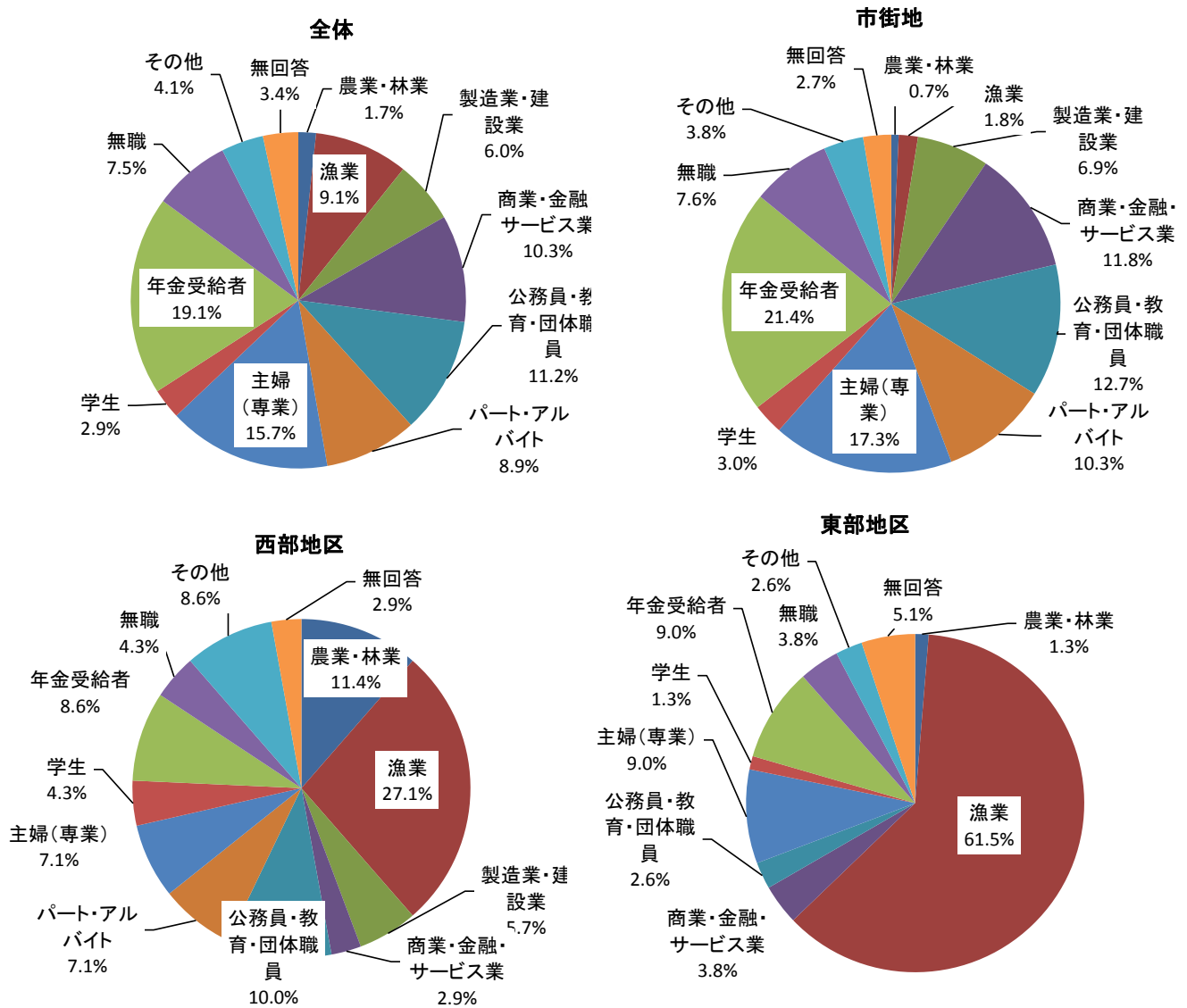
3. 年齢別構成

- ・回答者の年齢別構成は、40歳代以上が全体で約8割である。
- ・地区別では、40歳代以上の回答者の割合が西部地区で約7割であるが、他の地区はいずれも約8割となっている。



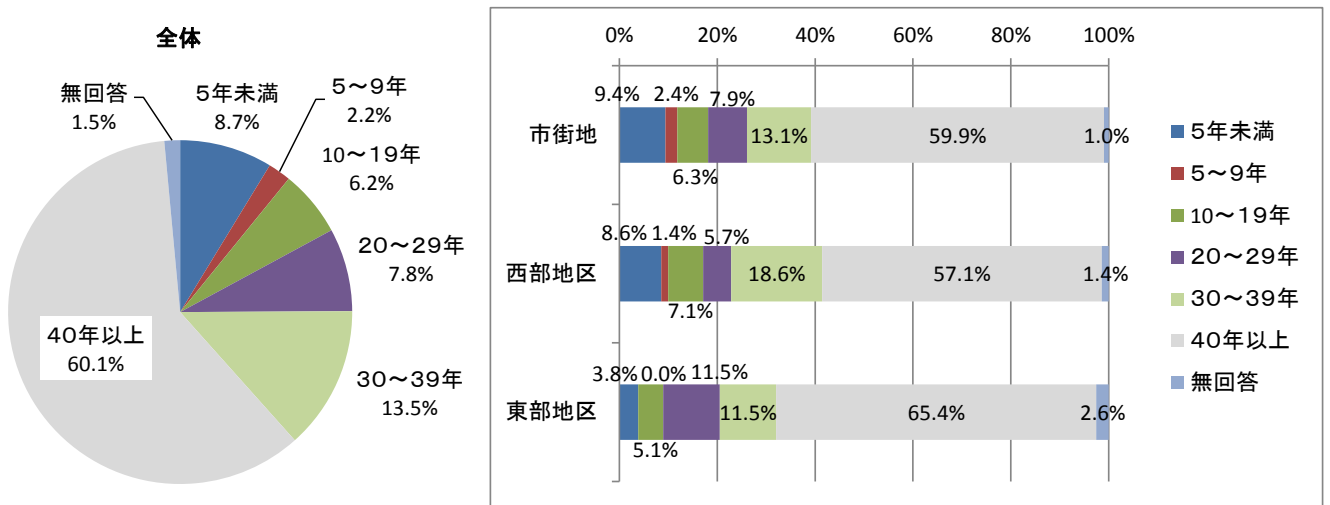
4. 職業別構成

- ・回答者の職業別構成は、市街地では年金受給者が21.4%と最も多くなっており、次いで主婦、公務員・教育・団体職員となっている。
- ・西部地区は、漁業が27.1%と最も多く、次いで農業、公務員・教育・団体職員となっている。
- ・東部地区は、漁業が最も多く61.5%を占めており、次いで、年金受給者、主婦となっている。



5. 居住年数

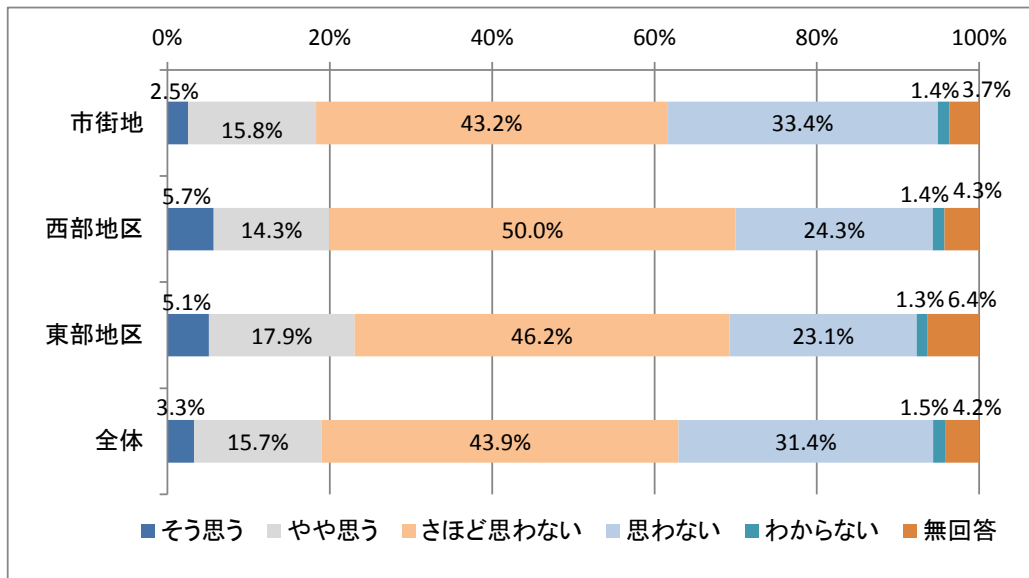
- 根室市での居住年数は、いずれの地区も40年以上が最も多くなっており、全体では60.1%を占めている。特に、東部地区では、20年以上の割合が他地区に比して大きい。



6. 根室市の印象（イメージ）

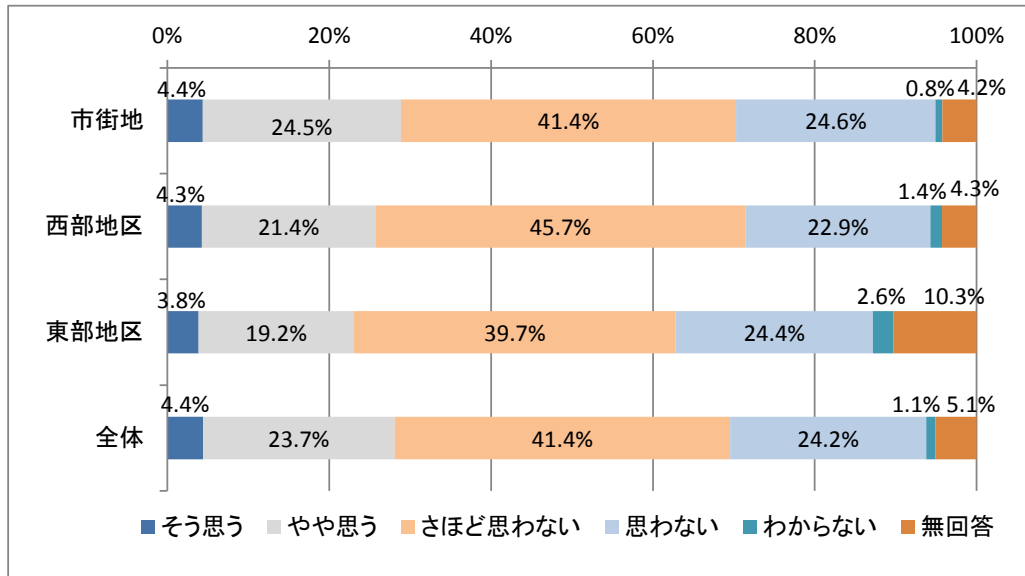
(1) 明るいまち

- 根室市のイメージとして「明るいまち」と思っている住民の割合は総じて低く、全体の2割程度にとどまっている。



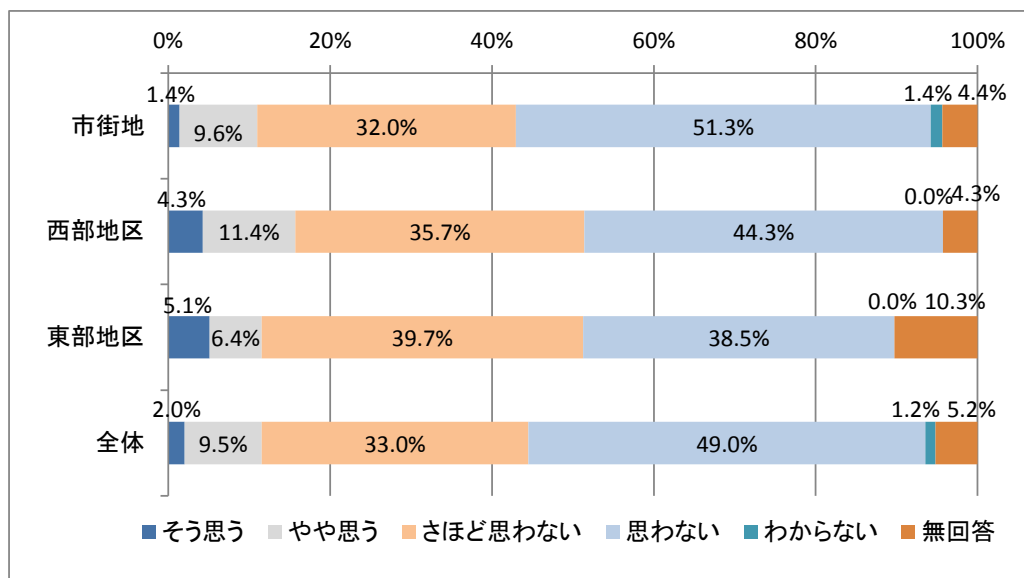
(2) 清潔なまち

- ・「清潔なまち」のイメージについても各地区とも「明るいまち」に対する印象よりは、やや肯定的な回答が多いものの、2割代にとどまっている。
- ・東部地区でやや否定的な印象をもっている住民の割合がやや高くなっている。



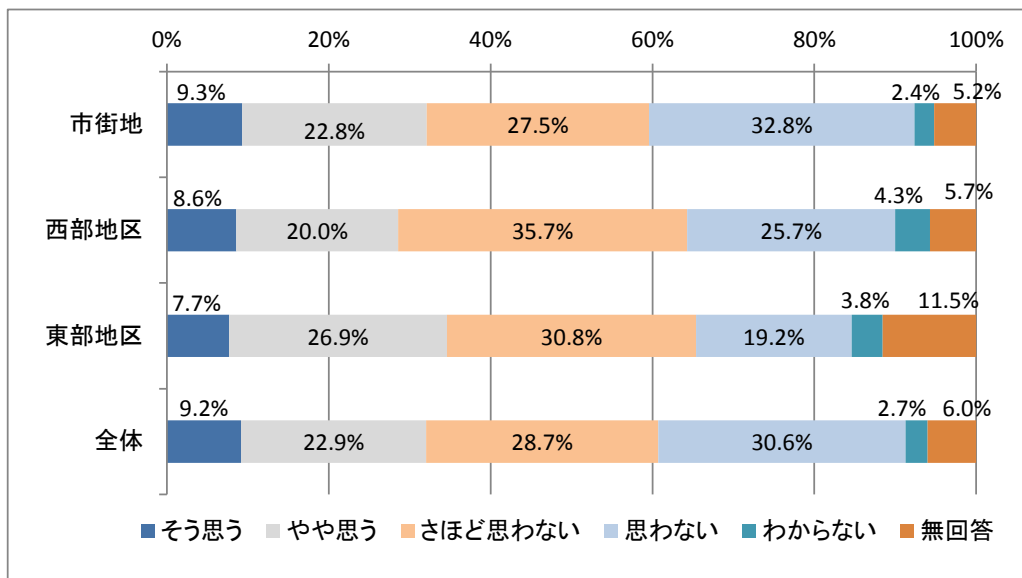
(3) 活気のあるまち

- ・「活気のあるまち」のイメージは、各地区とも低く、肯定的な印象をもっている住民の割合は、1割強にとどまっている。



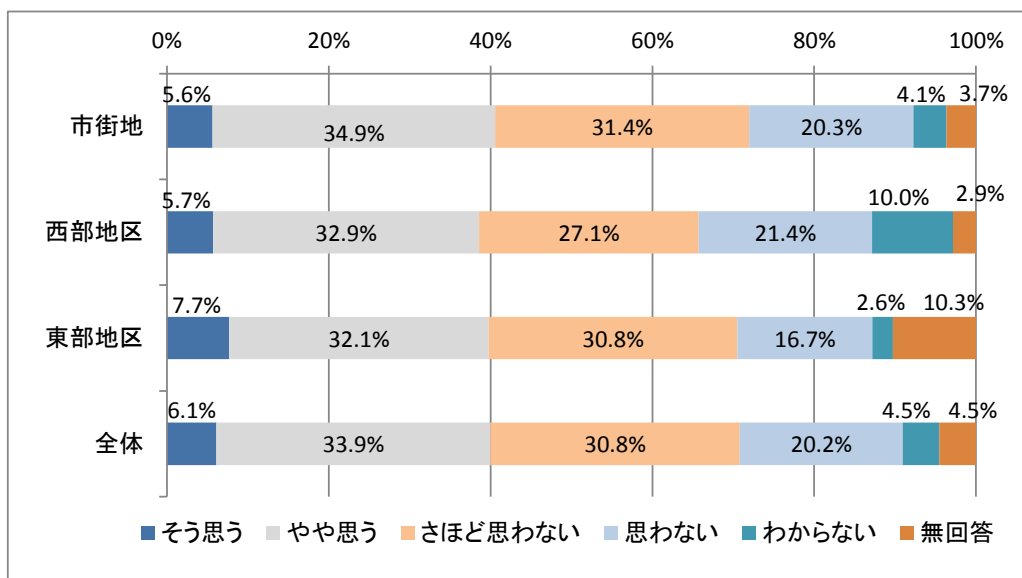
(4) 個性（特色）のあるまち

- ・「個性のあるまち」のイメージについては、各地区とも3割前後が肯定的な印象をもっているものの、西部地区では、否定的な印象をもっている回答割合がやや高かった。



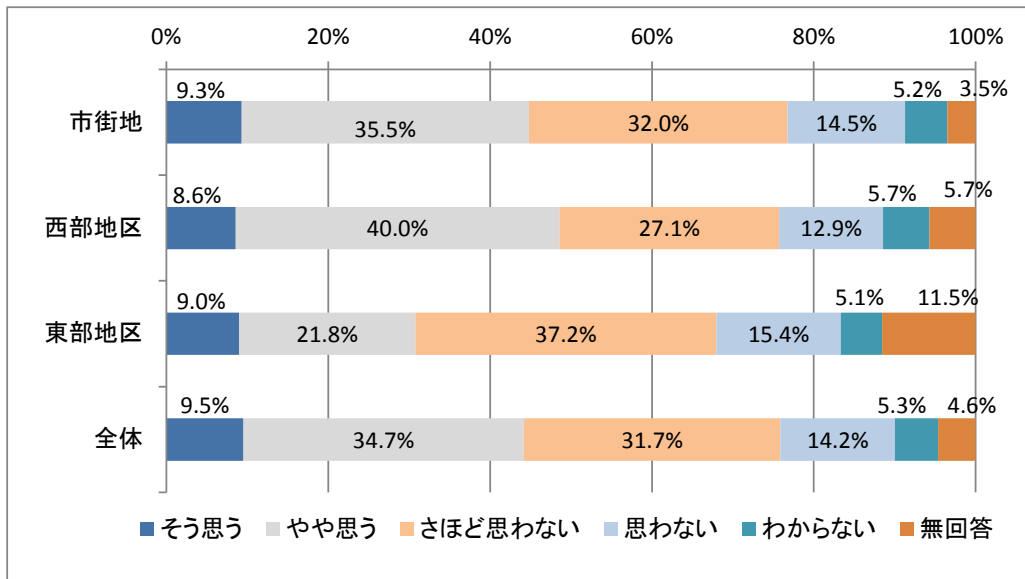
(5) ふれあいや連帯感のあるまち

- ・「ふれあいや連帯感のあるまち」のイメージについては、各地区とも総じて肯定的な印象をもっている回答割合が高く、4割程度を占めている。



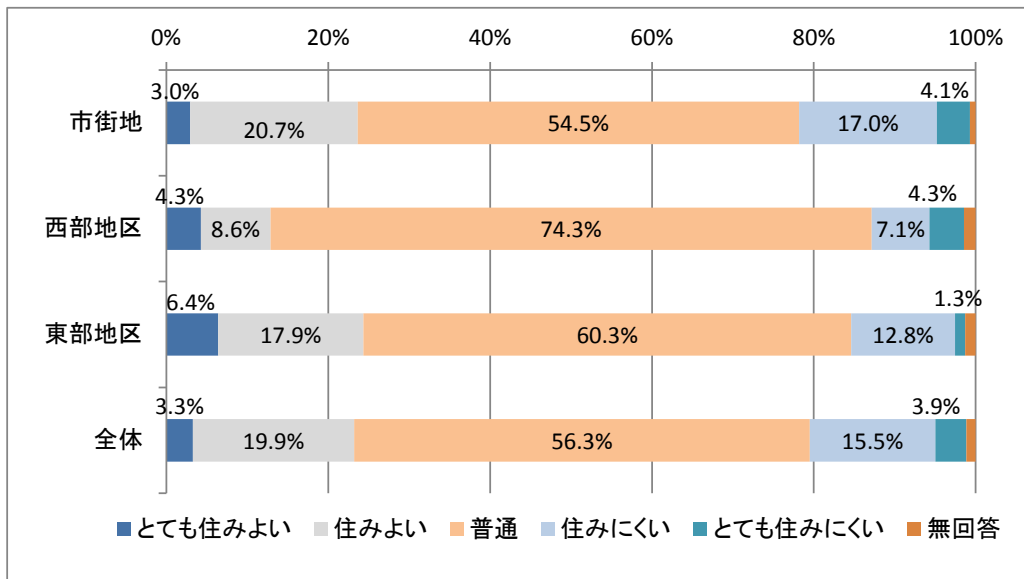
(6) 市民として誇りや郷土愛があるまち

・「市民として誇りや郷土愛があるまち」のイメージについては、地区によってばらつきがみられ、市街地や西部地区では、概ね4割強の肯定的な回答を占めていることに対し、東部地区では、3割強にとどまっている。



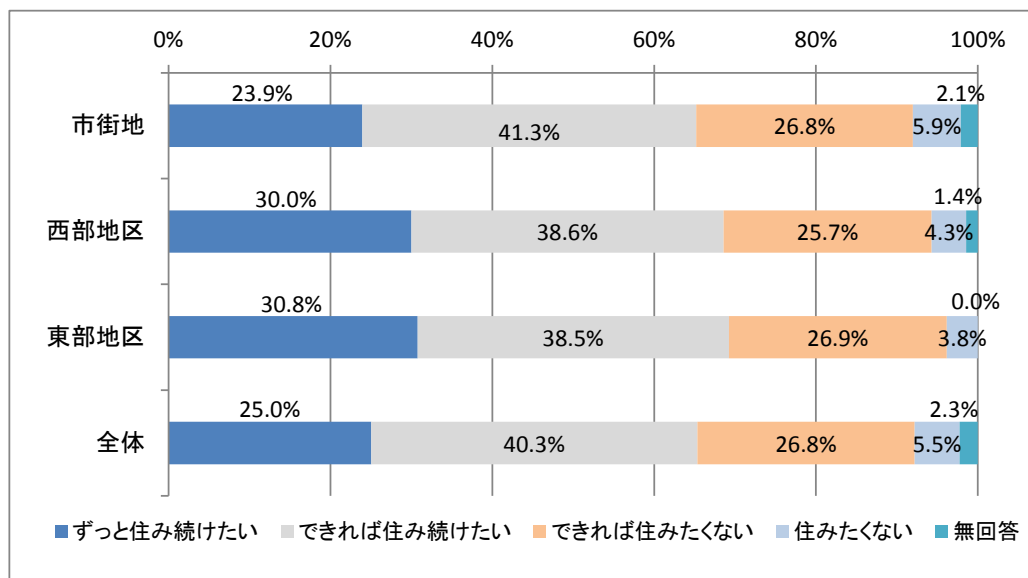
7. 居住の満足度（住みやすいと思っているか）

- ・根室市を住みよいまちと思っているかについては、総じて2割程度にとどまっているが、特に西部地区では、1割強にすぎない。



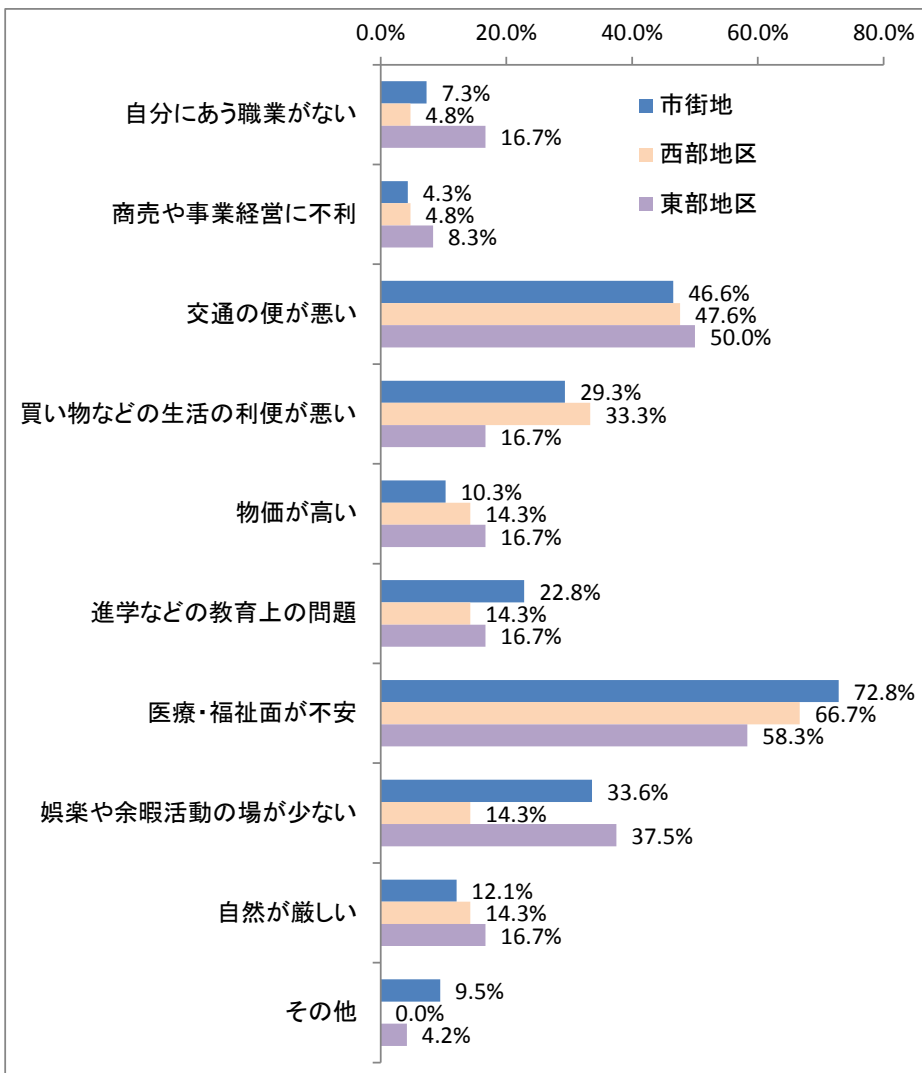
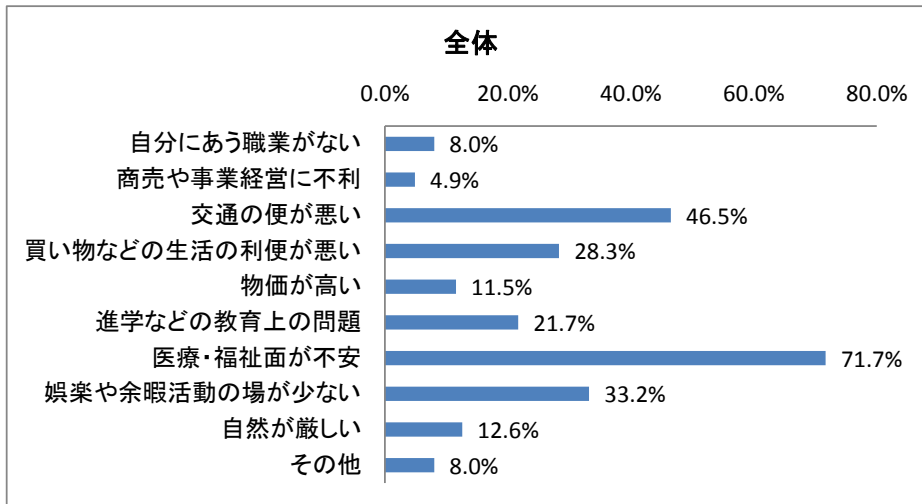
8. 定住度について（根室に住み続けたいと思うか）

- ・根室市の住みやすさについては、否定的な回答が多かったが、住み続けたいかどうかについては、各地区とも6割を超えており、定住意向が強いことが把握される。
- ・この定住意向の強さは、市街地の住民よりも、西部地区及び東部地区の住民の方がやや高くなっている。



9. 住み続けたくない理由

- ・根室市に住み続けたくないとする住民割合は、各地区とも3割強となっているが、この住み続けたくない理由をみると、全体では、医療・福祉面が不安とする回答割合が7割を超えている。続いて、交通の便、娯楽や余暇活動の場が少ないとなっている。
- ・地区別にみると、医療・福祉面での不安は、市街地住民が高く、交通の便の不満は、西部地区、東部地区でやや高くなっている。
- ・また、西部地区では、買い物等の生活利便性が悪いとする回答割合が比較的高くなっている。



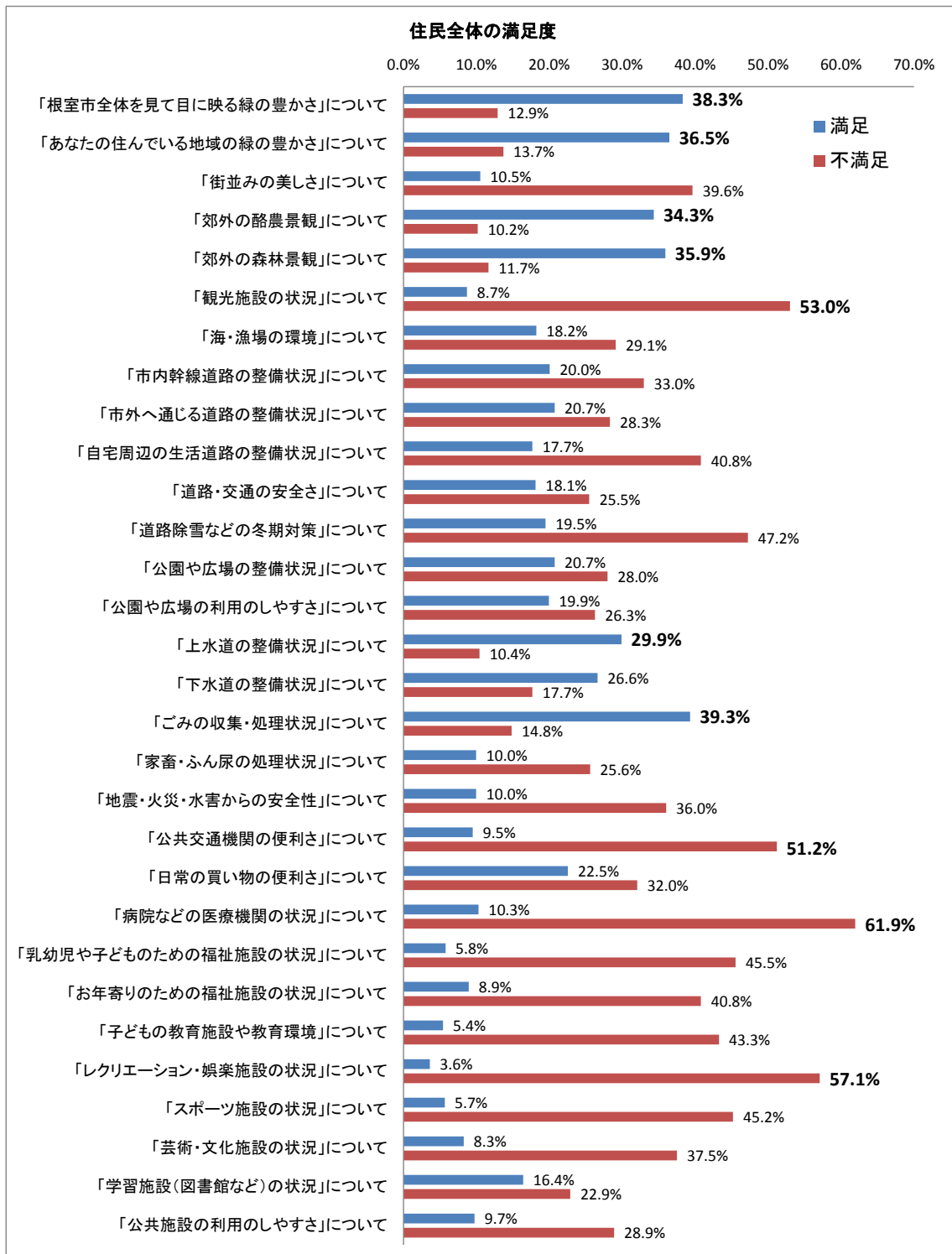
住み続けたくないとする回答数
 市街地 : 232 件
 西部地区 : 21 件
 東部地区 : 24 件

注: 本設問は3つまでの選択を求めている

10. まち全体に対する満足度

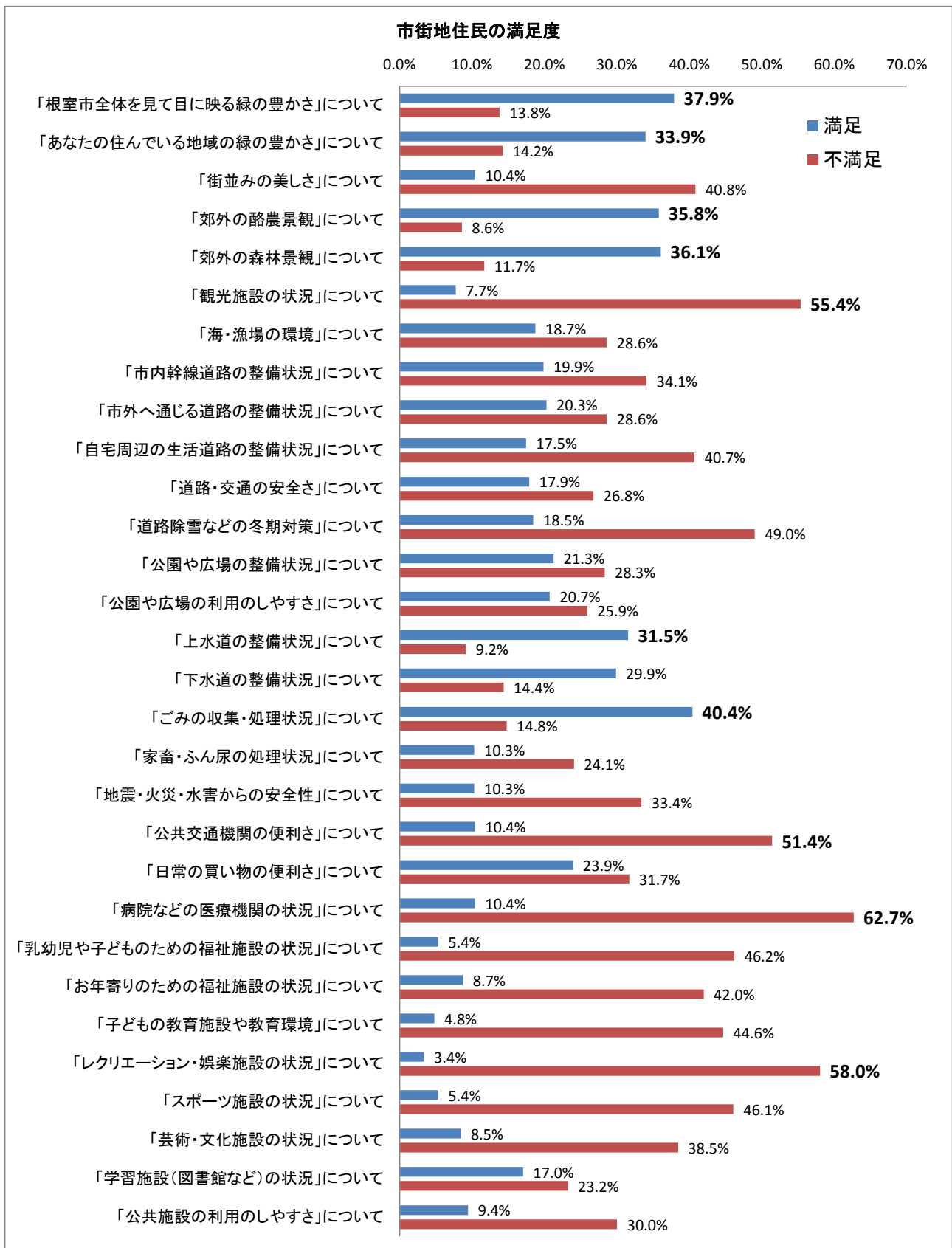
(1) 全体

- ・根室市の現状についての満足度を「満足」及び「やや満足」を満足とし、「不満」及び「やや不満」を不満として、各項目の満足度をみた。
- ・回答者全体では、満足度の高い項目は、「ごみの収集・処理状況」、「緑の豊かさ」「森林景観」「酪農景観」といった自然景観、「上水道の整備状況」がいずれも3割以上となっている。
- ・不満度の高い項目は、「病院などの医療機関の状況」「レクリエーション・娯楽施設の状況」、「観光施設の状況」「公共交通機関の便利さ」であり、先の住み続けたくない理由に挙げられた項目などとなっている。



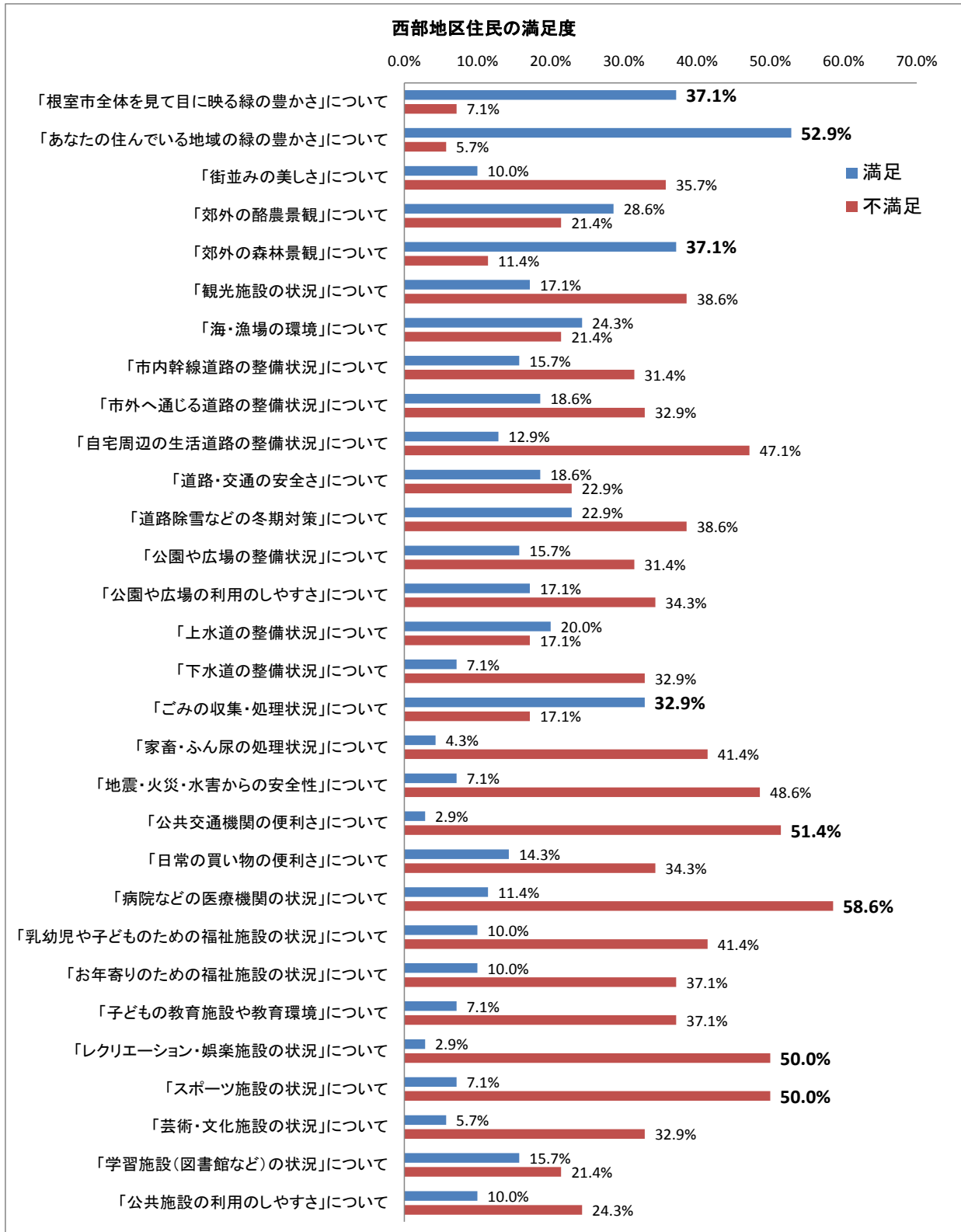
(2) 市街地住民の満足度

- 市街地住民の満足度及び不満足度は、回答者数が全体の8割を市街地住民で占めていることから、ほぼ回答者全体と同じ傾向を示しており、の高かった項目は、「ごみの収集・処理状況」、「景観等」、「上水道の整備状況」、不満の高い項目は、「病院などの医療機関の状況」「レクリエーション・娯楽施設の状況」、「観光施設の状況」、「公共交通機関の便利さ」となっている。



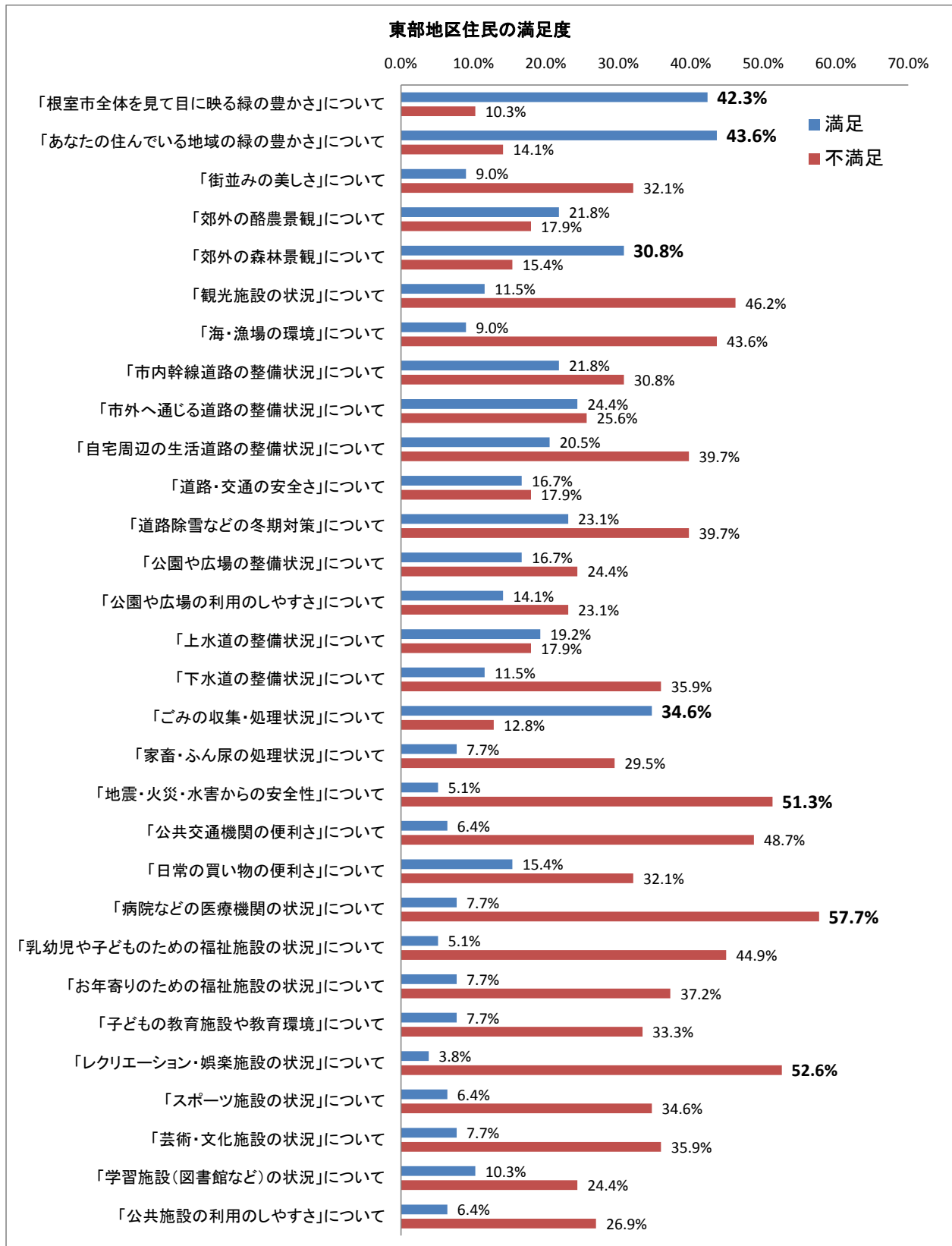
(3) 西部地区住民の満足度

- ・西部地区で満足度の高い項目は、「住んでいる地域の緑の豊かさ」が最も高く、5割を超えている。そのほか、「市内及び郊外の緑の豊かさ」、「ごみの収集・処理状況」で3割を超えている。
- ・不満の高い項目は、医療機関、公共交通機関、レクリエーションの場やスポーツ施設に対するもので、5割を超えている。
- ・このほか、「地震・火災・水害からの安全性」、「自宅周辺の生活道路」に対する不満も高くなっている。



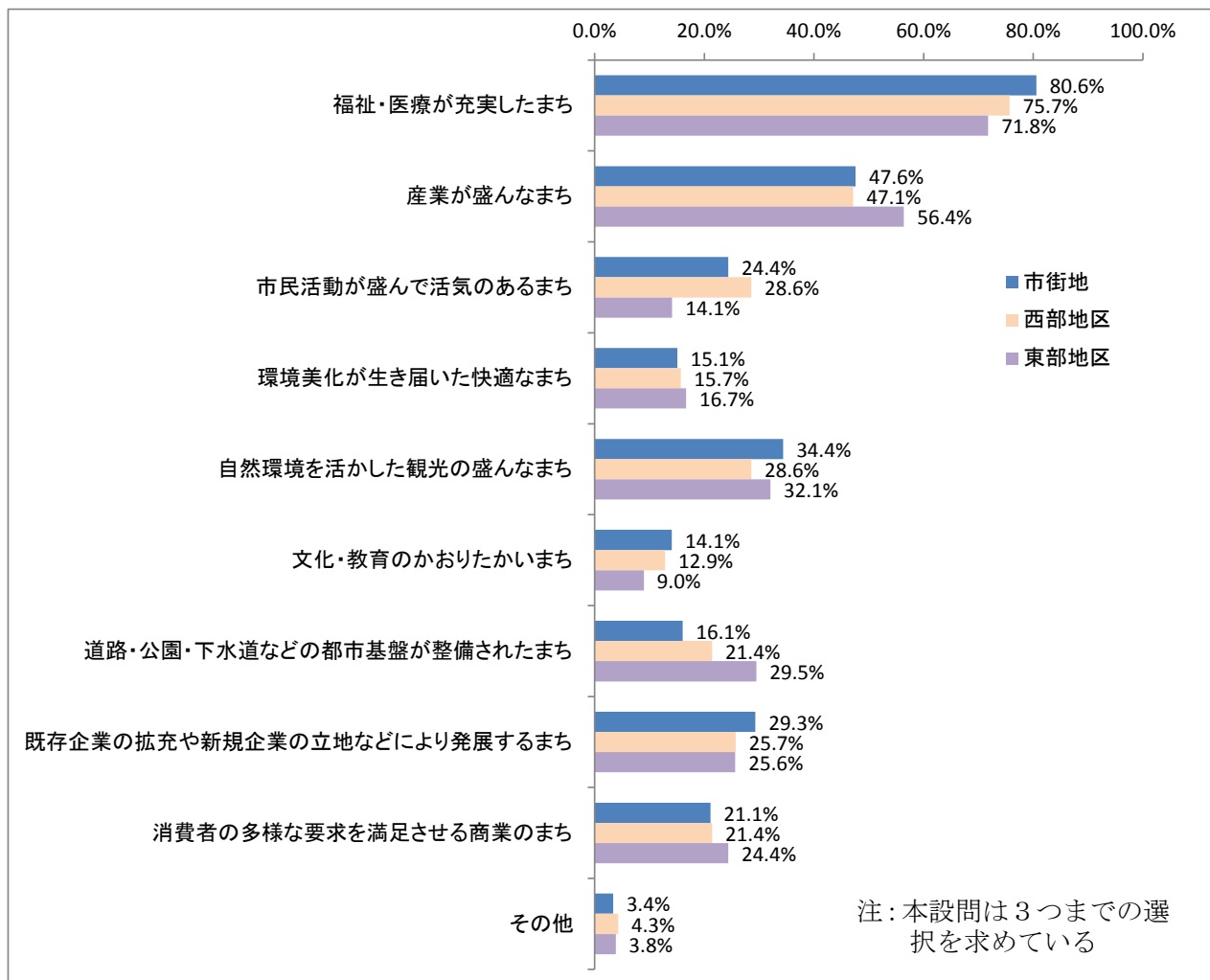
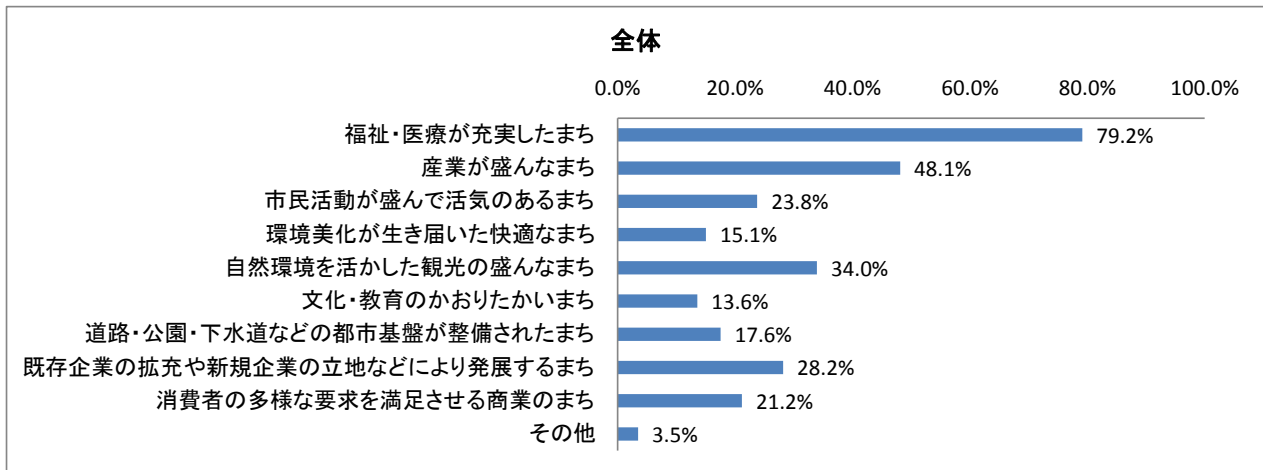
(4) 東部地区住民の満足度

- ・東部地区で満足度の高い項目は、市内や住んでいる地域の「緑の豊かさ」であり、4割を超えおり、他地区と比較しても、最も満足度が高い。このほかでは「ごみの収集・処理状況」で3割を超えている。
- ・不満の高い項目は、医療機関やレクリエーション施設のほか、「地震・火災・水害からの安全性」に対する不満が5割を超えている。



11. まちの将来像（将来根室市がどのようなまちになることを望むか）

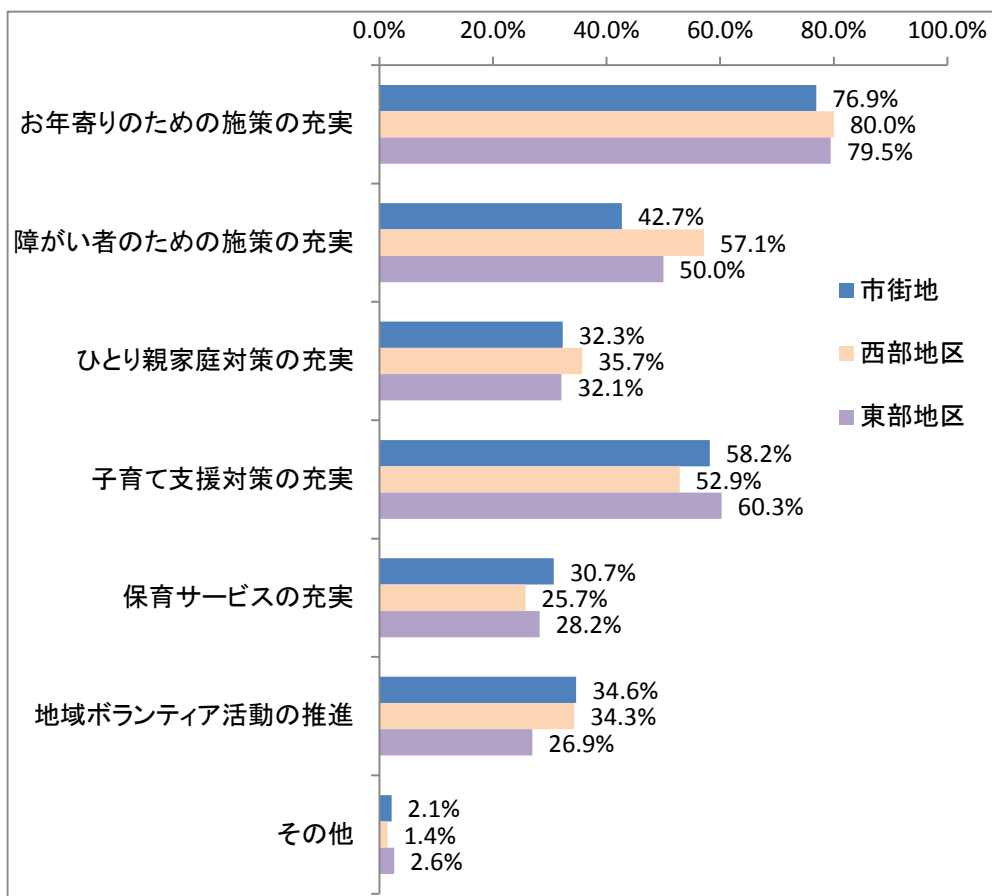
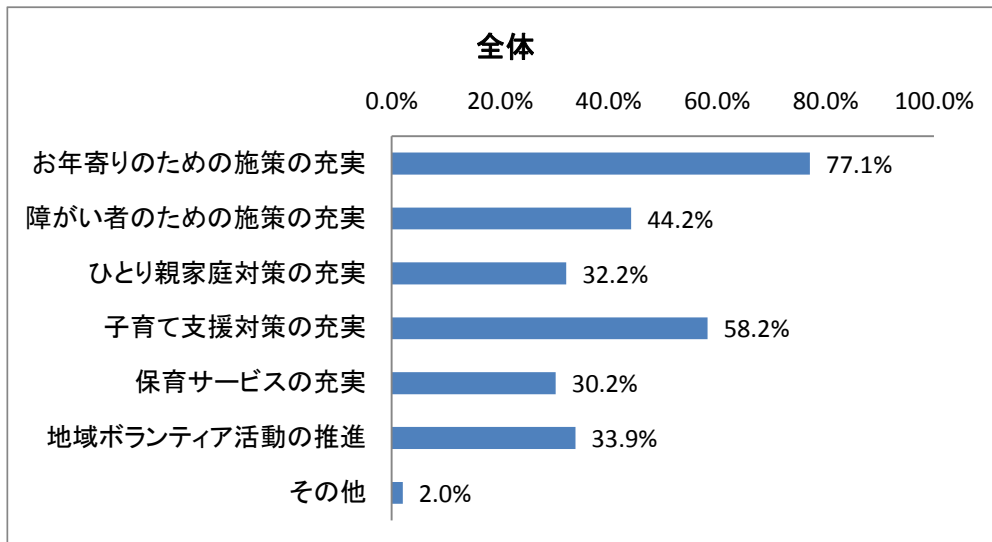
- ・市民が、将来根室市がどのようなまちになることを望んでいるかについてみると、回答者全体では、「福祉・医療が充実したまち」が、8割近くを占めており、次いで「産業が盛んなまち」が5割弱となっている。
- ・地区別では、「医療・福祉が充実したまち」については、各地区とも7割以上と高くなっており、市街地住民が最も高く、西部地区や東部地区ではやや低くなっている。そのほか、「産業が盛んなまち」を望む割合は、東部地区が最も高い。
- ・また、不満意識が高かった「観光」に関しては、福祉・医療、産業に次いで各地区とも3番目に多くなっている。



1.2. 新しい総合計画における重点事項について

(1) 社会福祉について

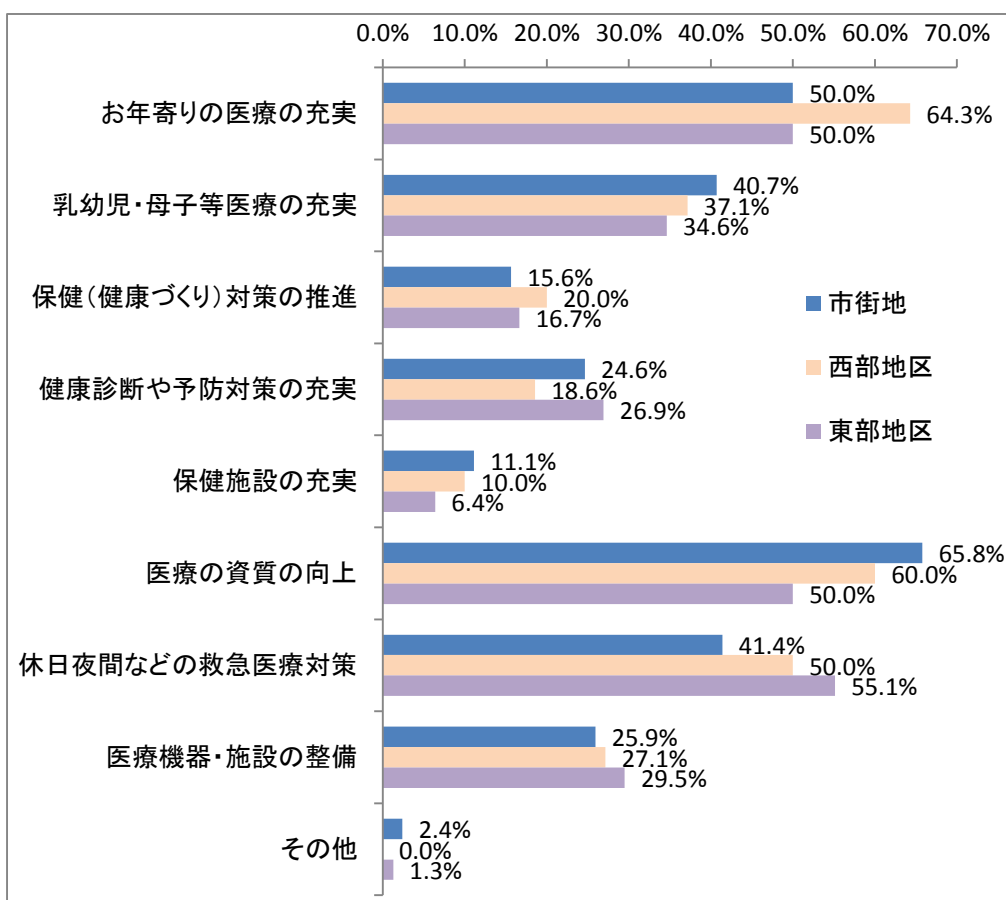
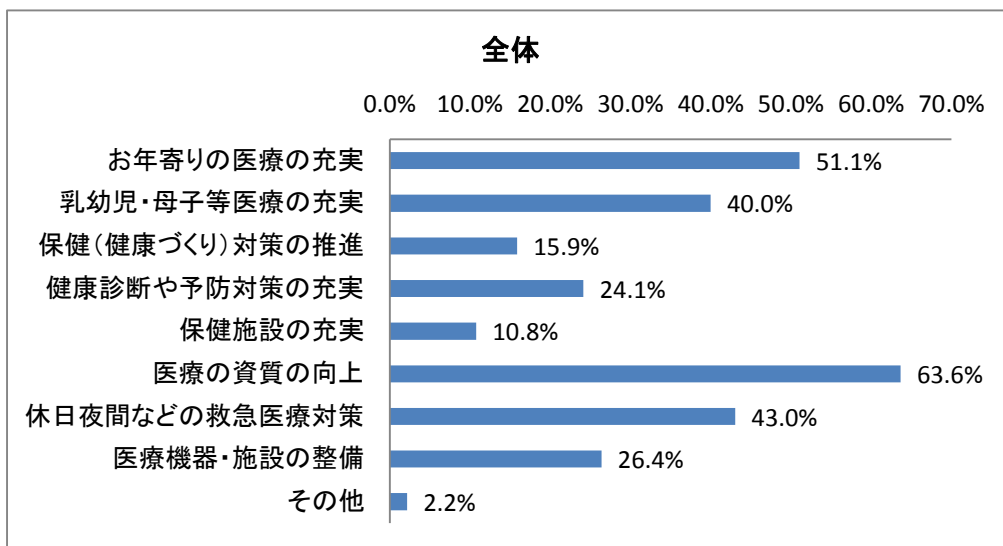
- ・次期総合計画における重点事項のうち、社会福祉に関しては、各地区とも「お年寄りのための施策」及び「子育て支援対策」があげられているが、西部地区では、「障がい者のための施策」が「お年寄りのための施策」に次いで多くなっているほか、「東部地区」の回答も5割を占めている。



注：本設問は3つまでの選択を求めている

(2) 保健医療について

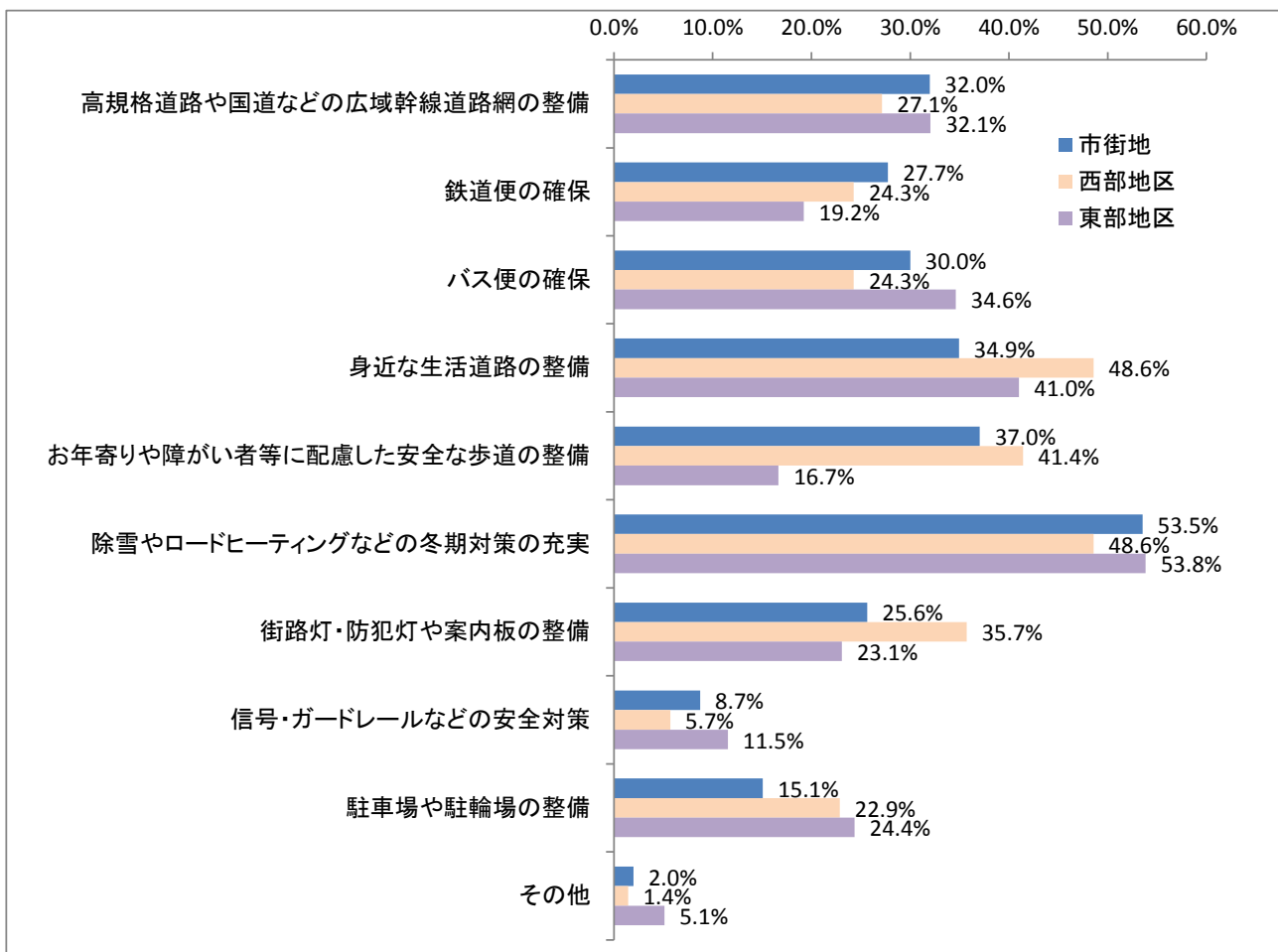
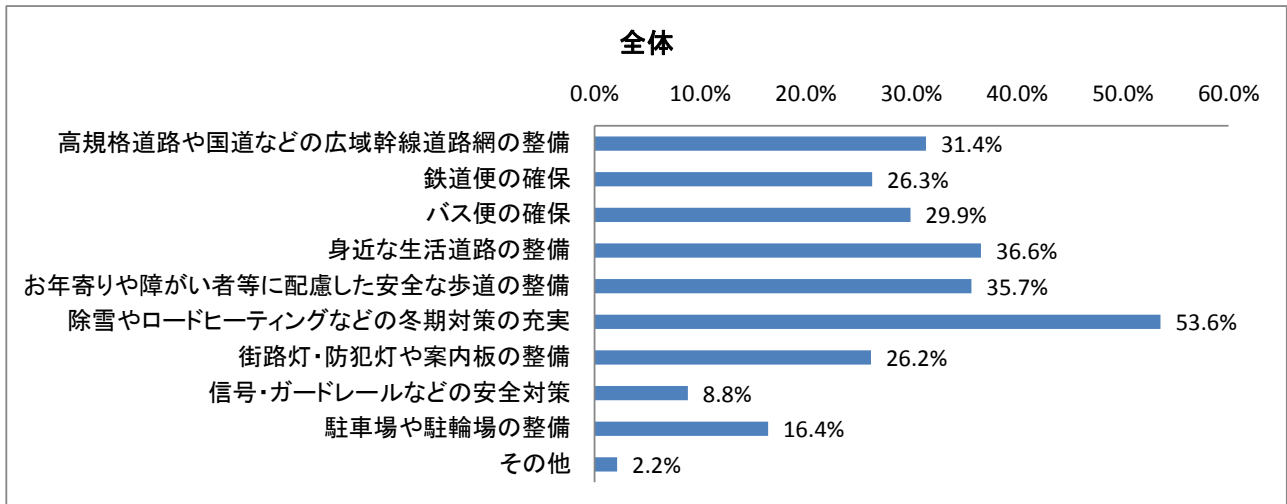
- ・保健医療に関しては、地区によって要望する施策が異なっている。
- ・市街地では、「医療の質の向上」が最も多く、次いで「お年寄りの医療の充実」「休日・夜間などの救急医療対策」の順となっているが、西部地区では、「お年寄りの医療の充実」への要望が最も多く、東部地区では「休日・夜間などの救急医療対策」が最も多くなっている。



注：本設問は3つまでの選択を求めている

(3) 道路交通について

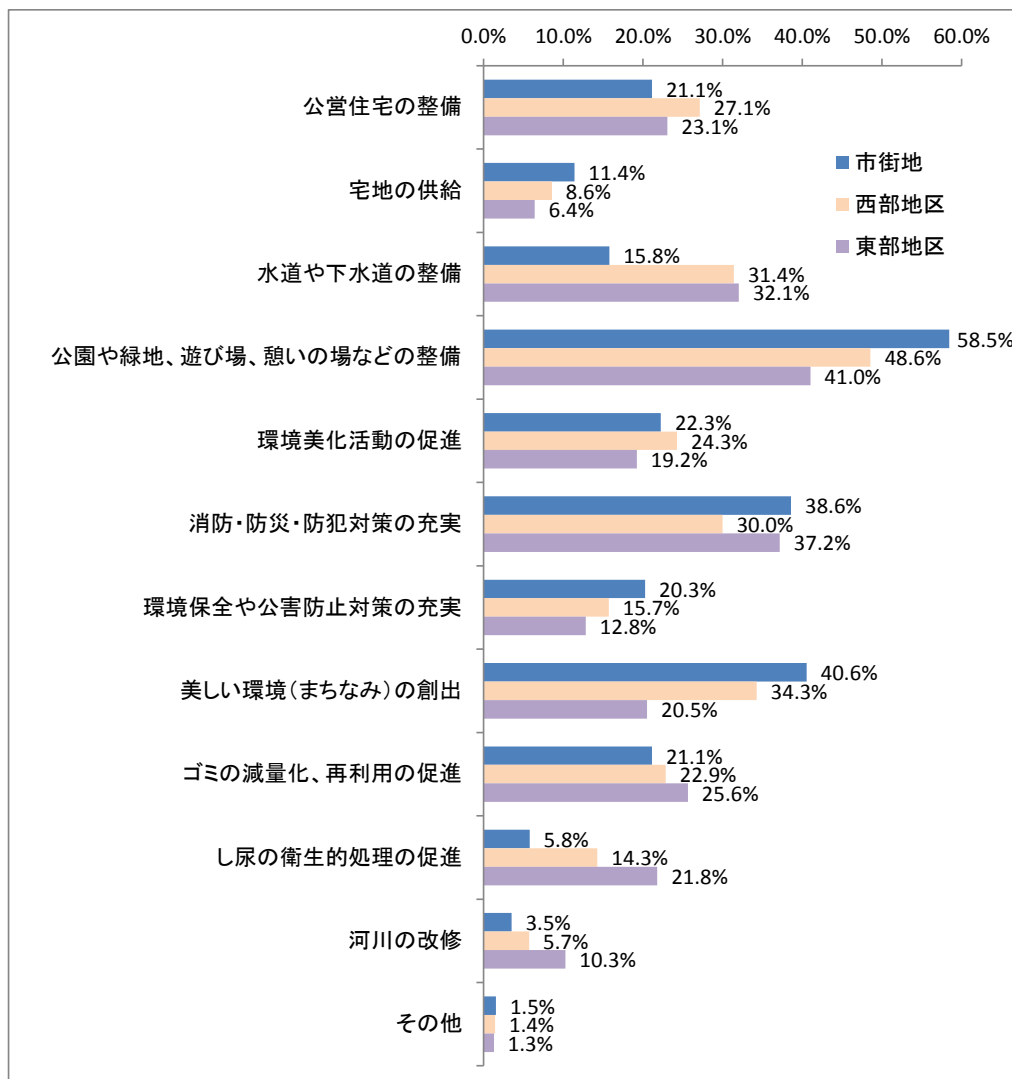
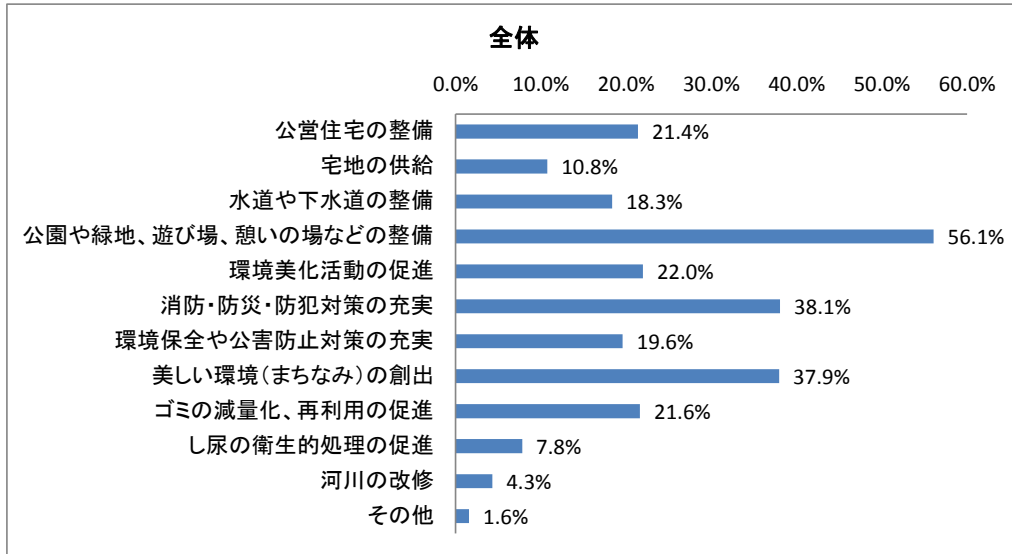
- ・ 道路交通に関しては、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が各地区とも最も多くなっているほか、「身近な生活道路の整備」、「お年寄りや障がい者等に配慮した安全な歩道の整備」、「バス便の確保」での要望が多くなっている。
- ・ 西部地区では、「街路灯・防犯灯や案内板の整備」が高くなっていることが特徴的である。



注：本設問は3つまでの選択を求めている

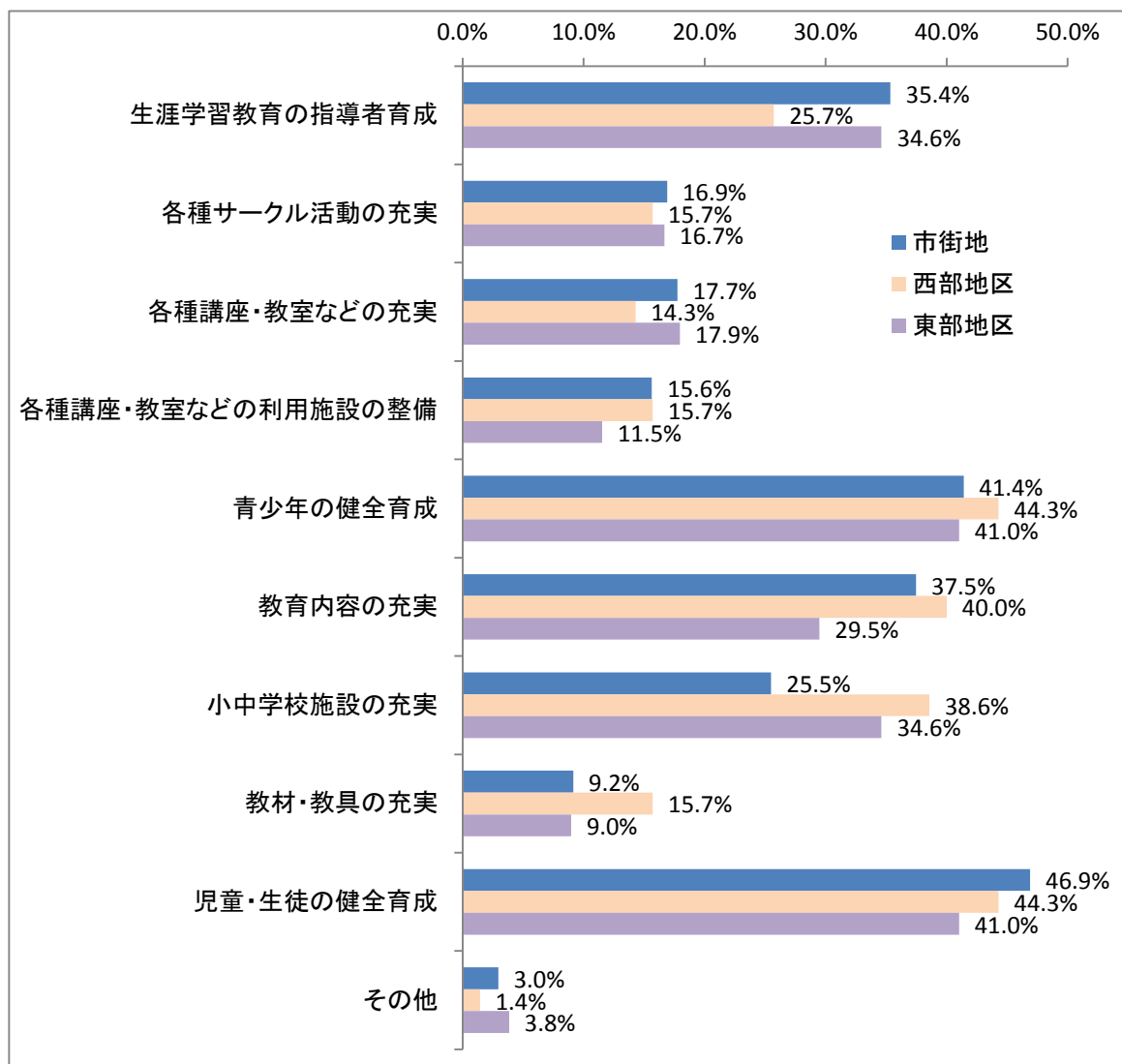
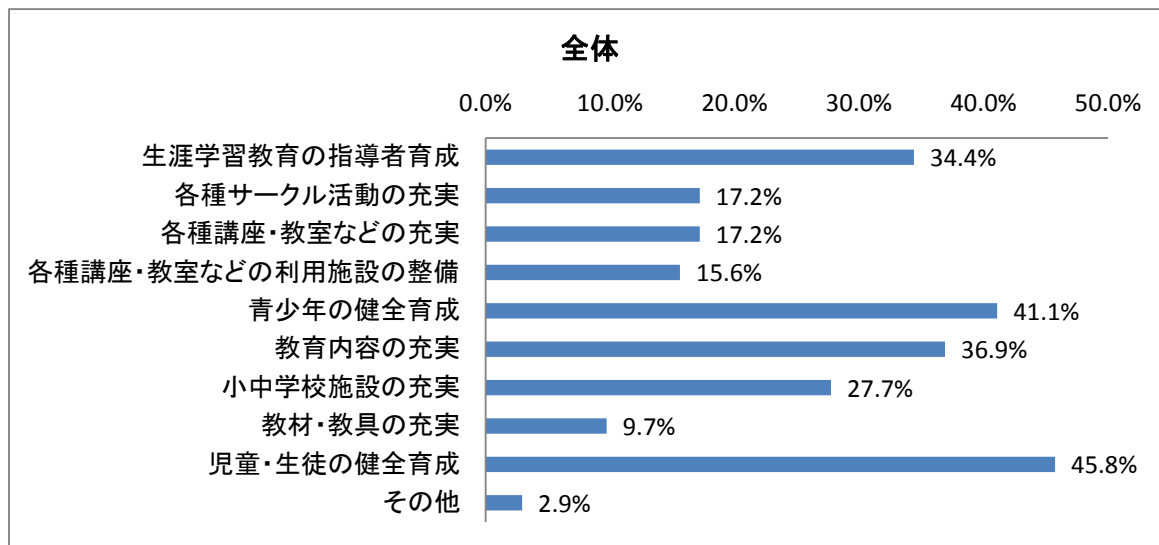
(4) 生活環境について

- ・生活環境に関しては、各地区とも「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」に対する要望が最も高い。次いで、「消防・防災・防犯対策の充実」、「美しい環境（まちなみ）の創出」への要望が高くなっている。
- ・また、西部地区及び東部地区では、「水道や下水道の整備」が高くなっていることが特徴的である。



(5) 学校教育・社会教育について

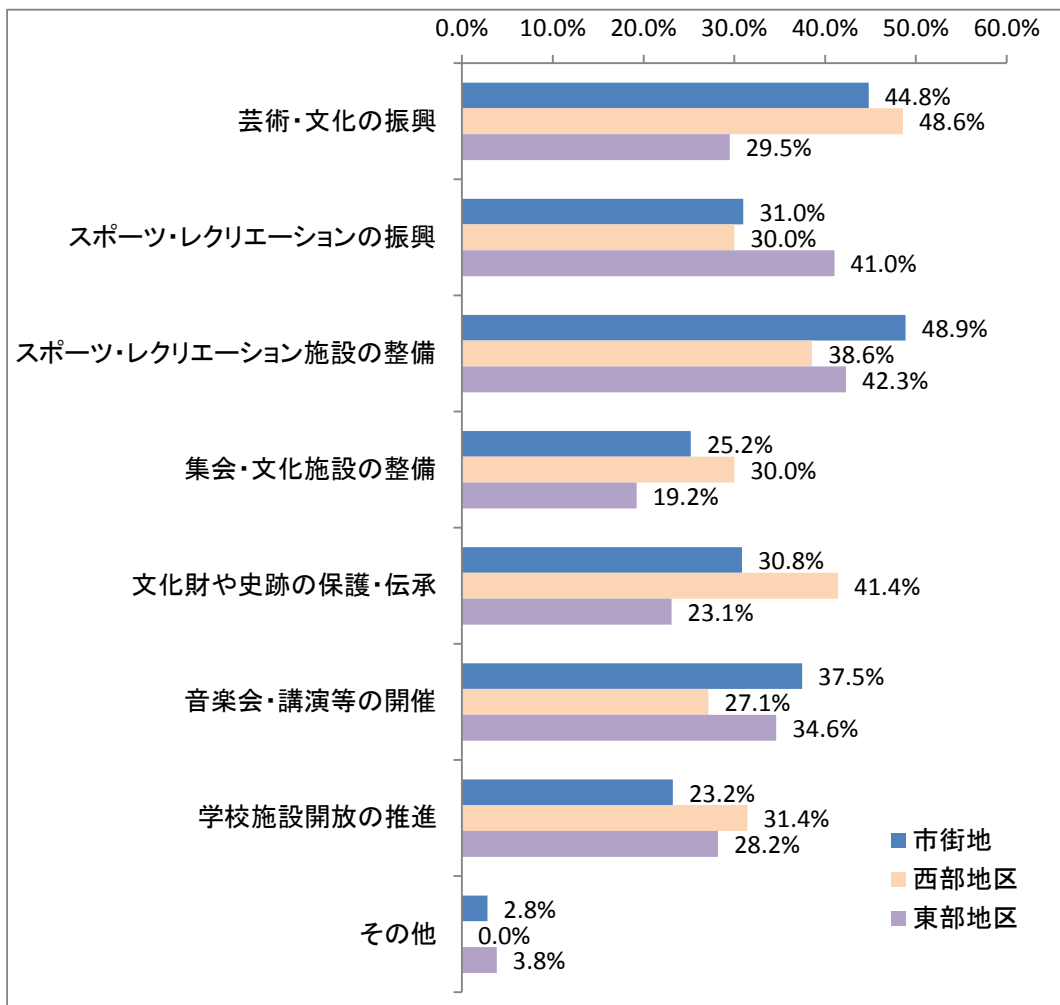
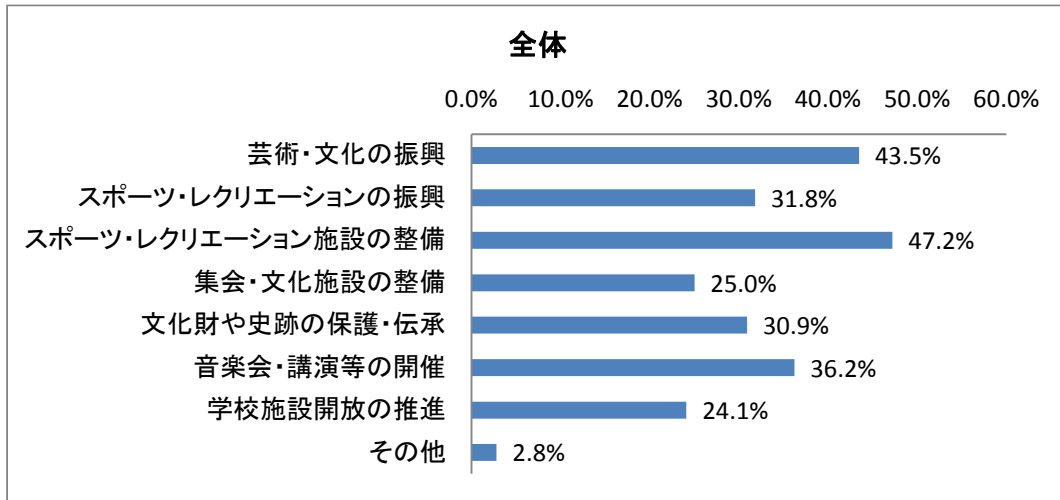
・学校教育・社会教育に関しては、「小中学校施設の整備」で西部地区と東部地区で高くなっている以外は、地区による差は多くはなく、「児童・生徒の健全育成」、「青少年の健全育成」、「教育内容の充実」、「生涯学習教育の指導者育成」への要望が大きくなっている。



注：本設問は3つまでの選択を求めている

(6) スポーツ・レクリエーション・文化について

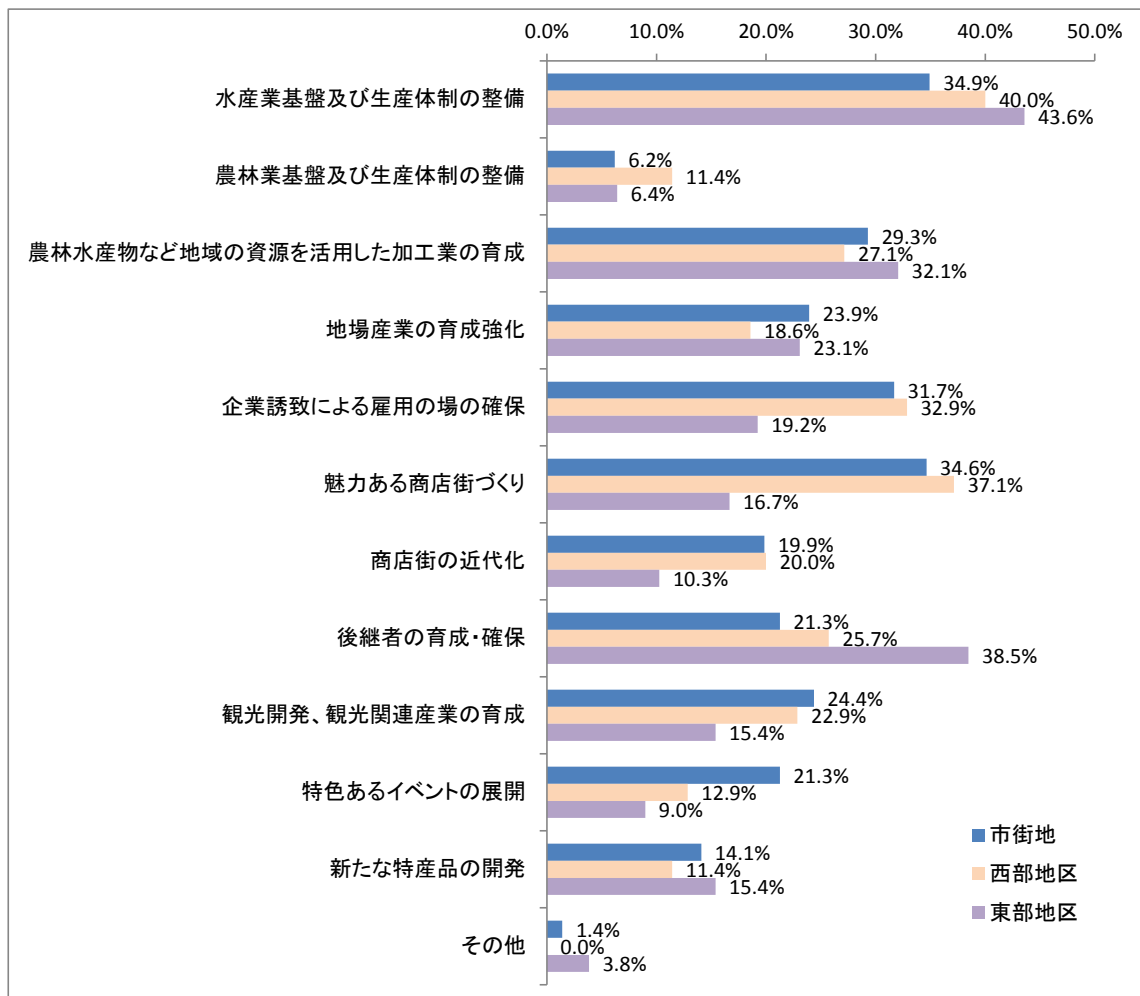
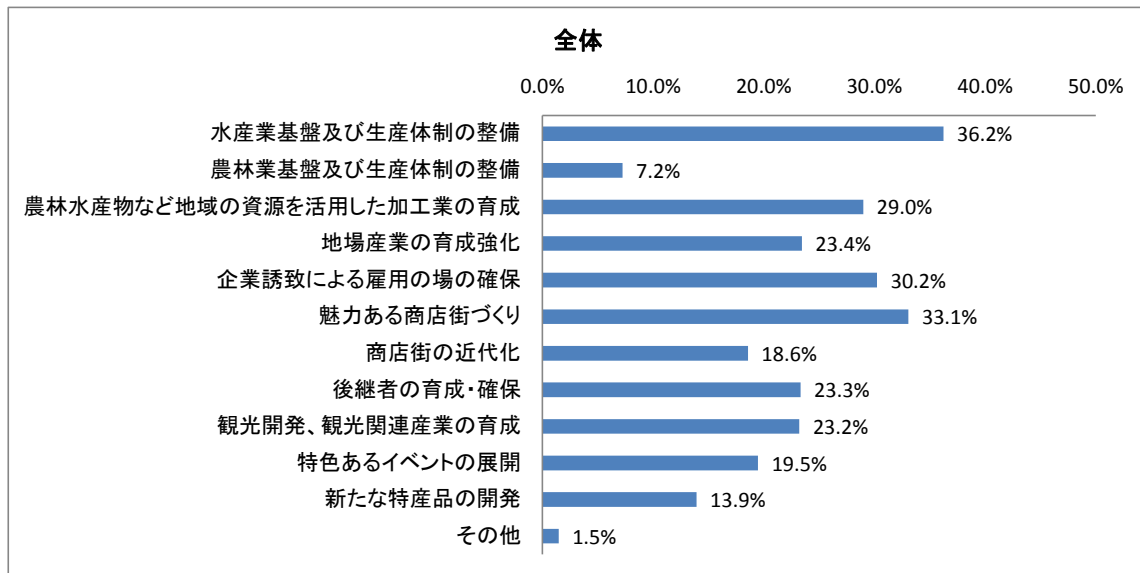
・スポーツ・レクリエーション・文化施設に関しては、西部地区で「文化財や史跡の保護」が高くなっていることや、東部地区で「芸術・文化の振興」よりも「スポーツ・レクリエーションの振興」が高くなっている傾向がみられているが、各地区ともこの3項目での要望が高くなっている。



注：本設問は3つまでの選択を求めている

(7) 産業の振興について

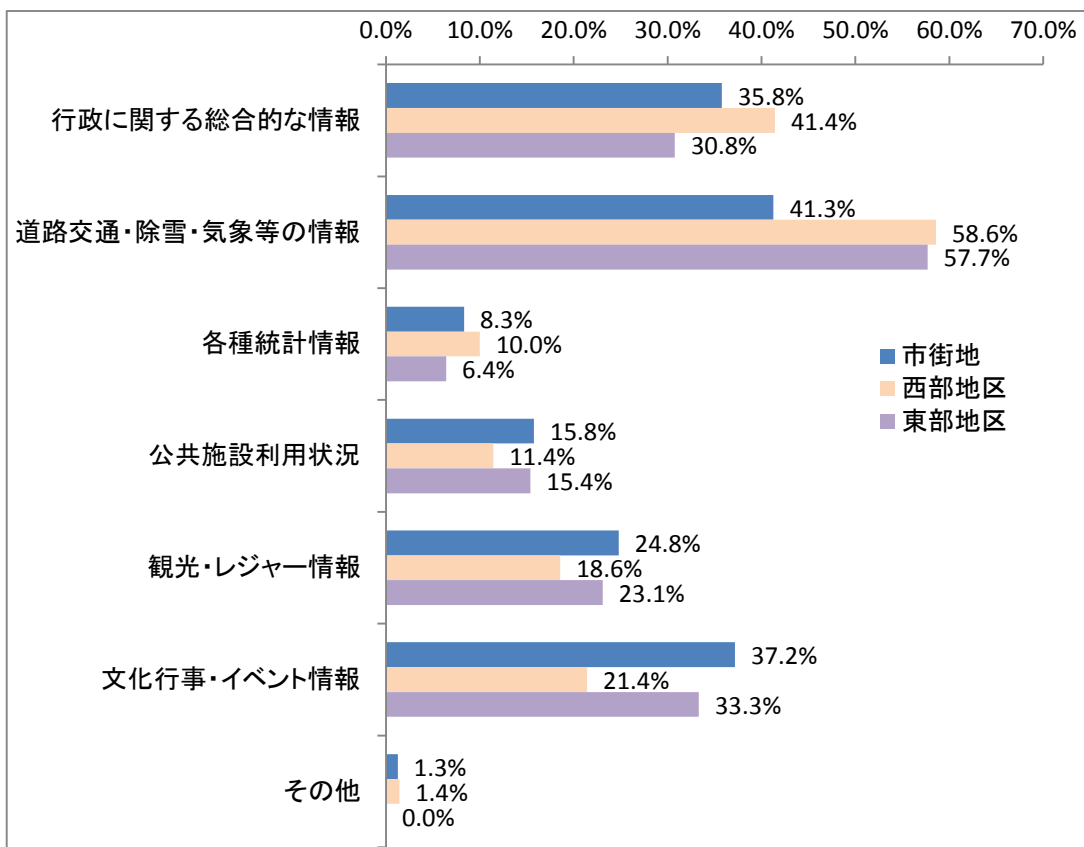
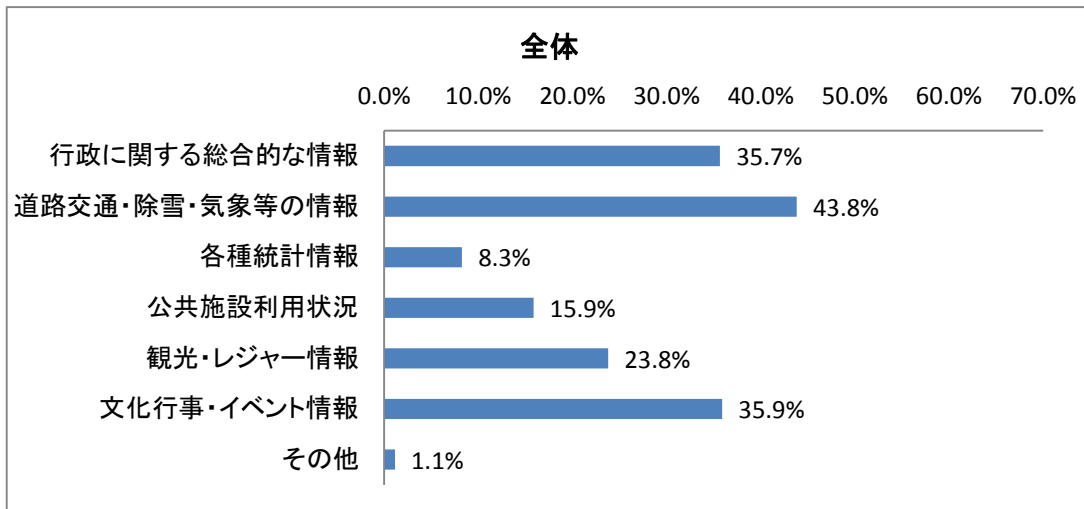
- ・産業の振興に関しては、各地区とも「水産業基盤及び生産体制の整備」への要望が最も多い。それ以外の項目に関しては地区ごとではばらつきがみられている。
- ・市街地と西部地区はほぼ同様の傾向を示しており、「魅力ある商店街づくり」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」で高くなっているが、東部地区では、「後継者の育成」への要望が2番目に多く、「魅力ある商店街づくり」、「企業誘致による雇用の場の確保」に対してはそれほど優先順位は高くない状況がうかがえる。



注：本設問は3つまでの選択を求めている

1.3. 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）

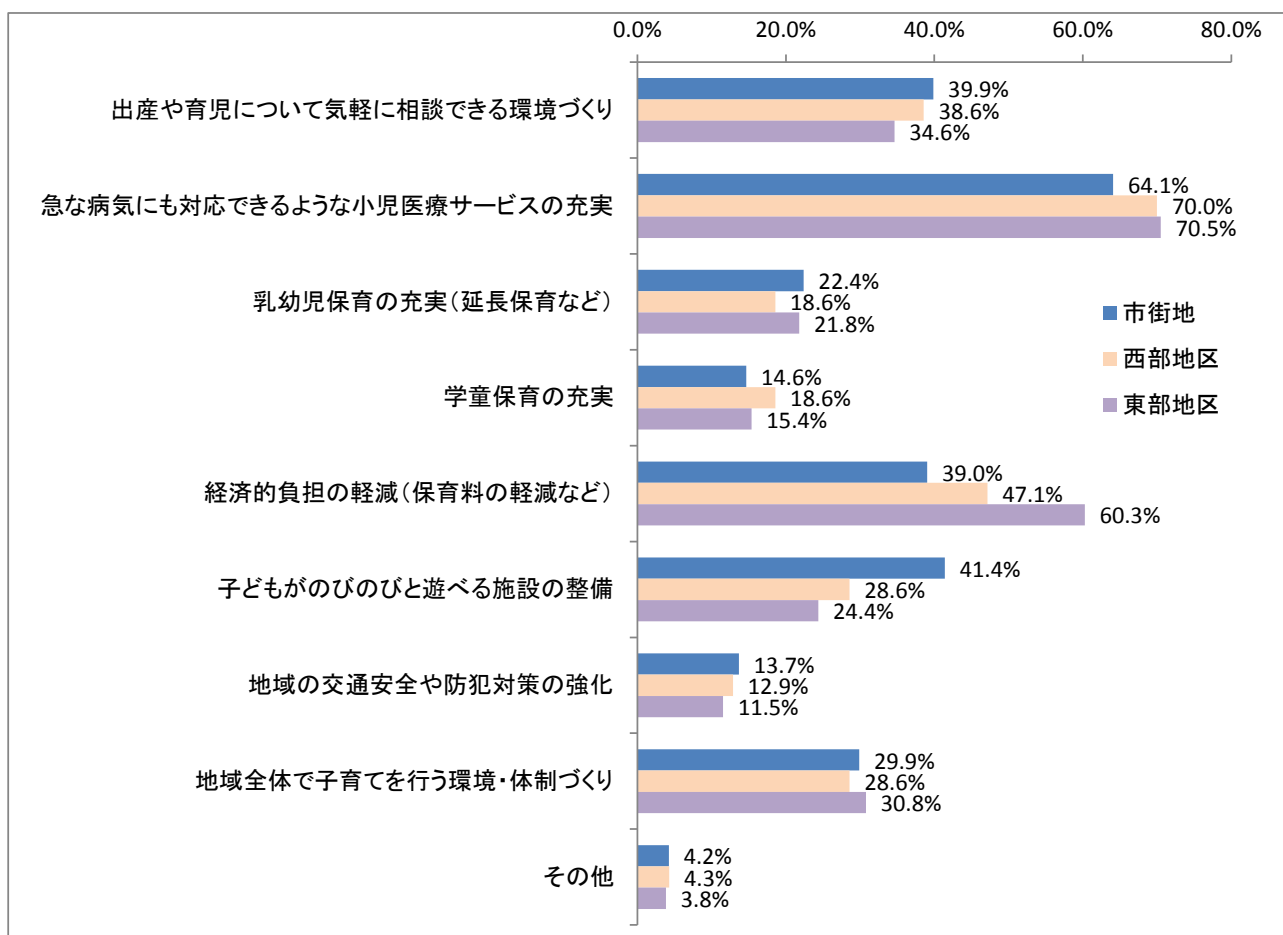
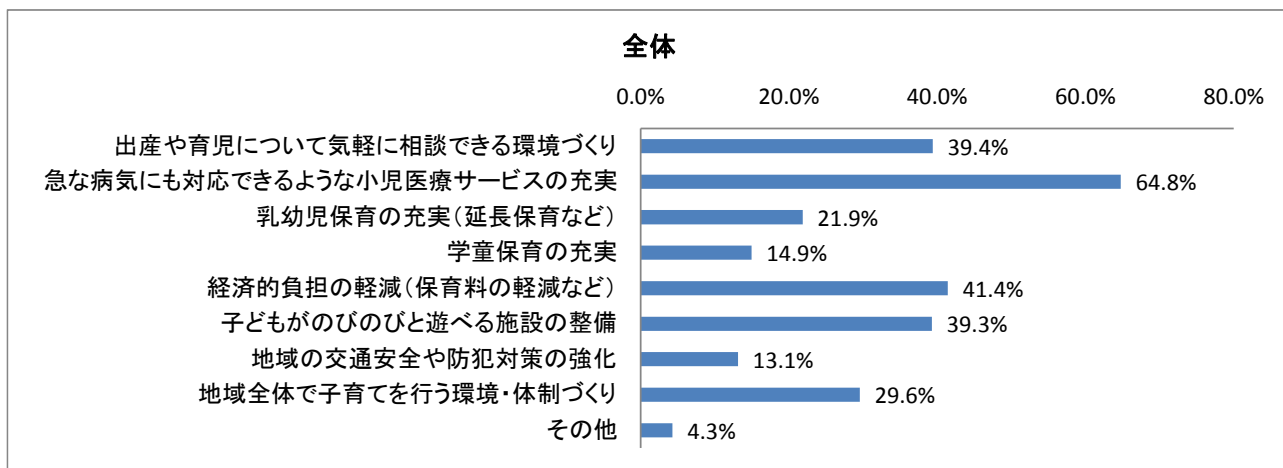
- ・行政からの情報提供に対する要望をみると、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」が高くなっているが、特に、「道路交通・除雪・気象等の情報」に関しては、西部地区及び東部地区の要望が際立って高くなっている。



注：本設問は2つまでの選択を求めている

1 4. 少子化・子育て支援について（少子化・子育てについて重要だと思う施策）

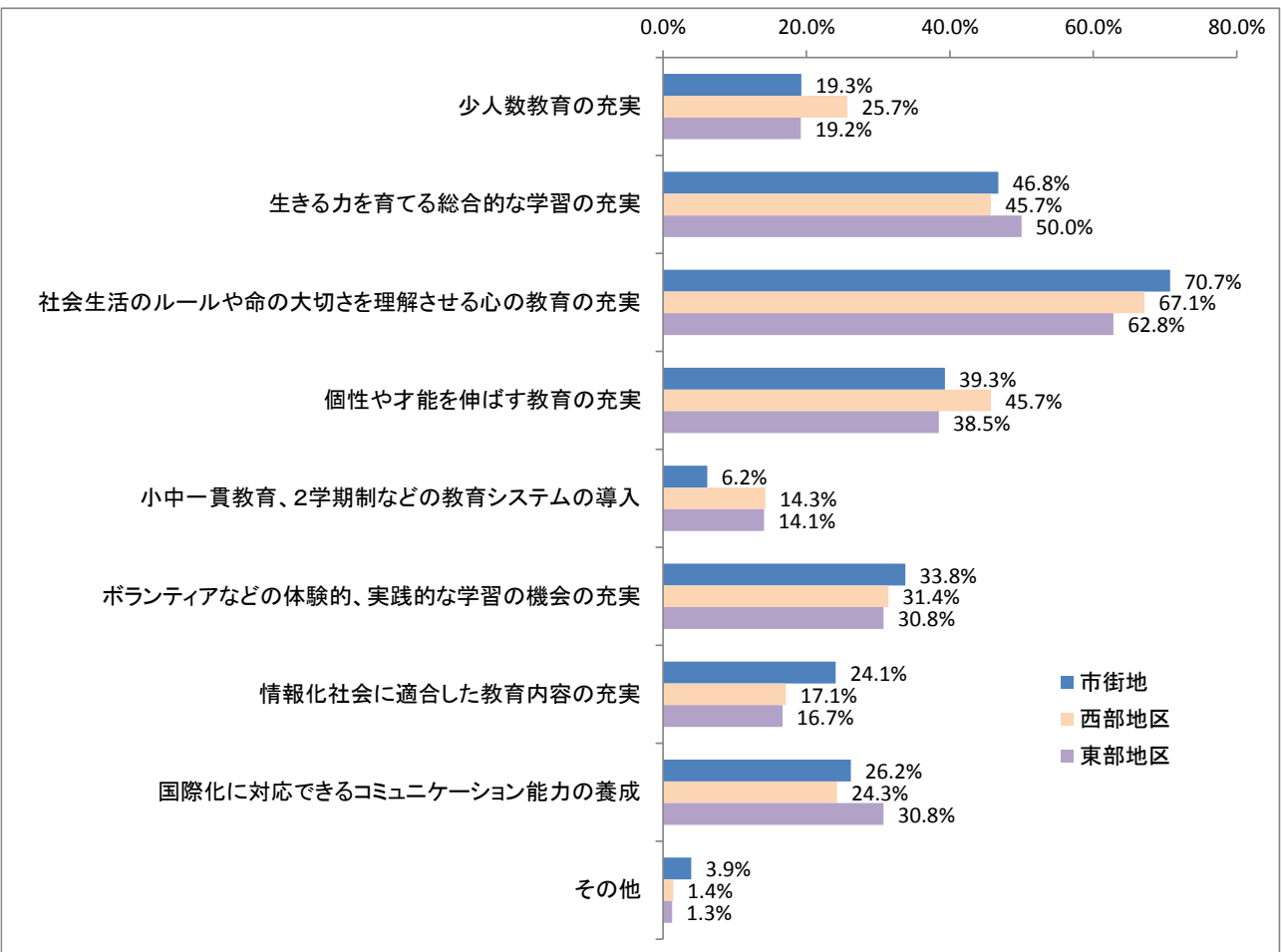
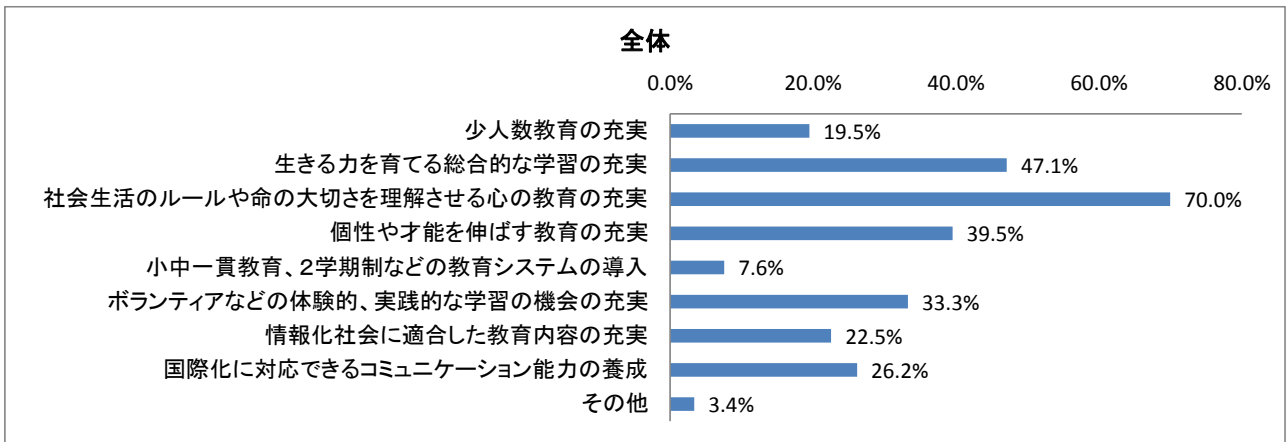
- ・少子化・子育て支援に関する施策として重要であるとの回答割合が最も高かった項目は、「急な病気にも対応できるような小児医療サービスの充実」であり、回答者の約7割があげている。
- ・次いで、「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」、「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」があげられているが、「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」は、西部地区及び東部地区からの要望が多くなっている。



注：本設問は3つまでの選択を求めている

1 5. 学校教育について（学校教育の充実のために市が力を注ぐべきこと）

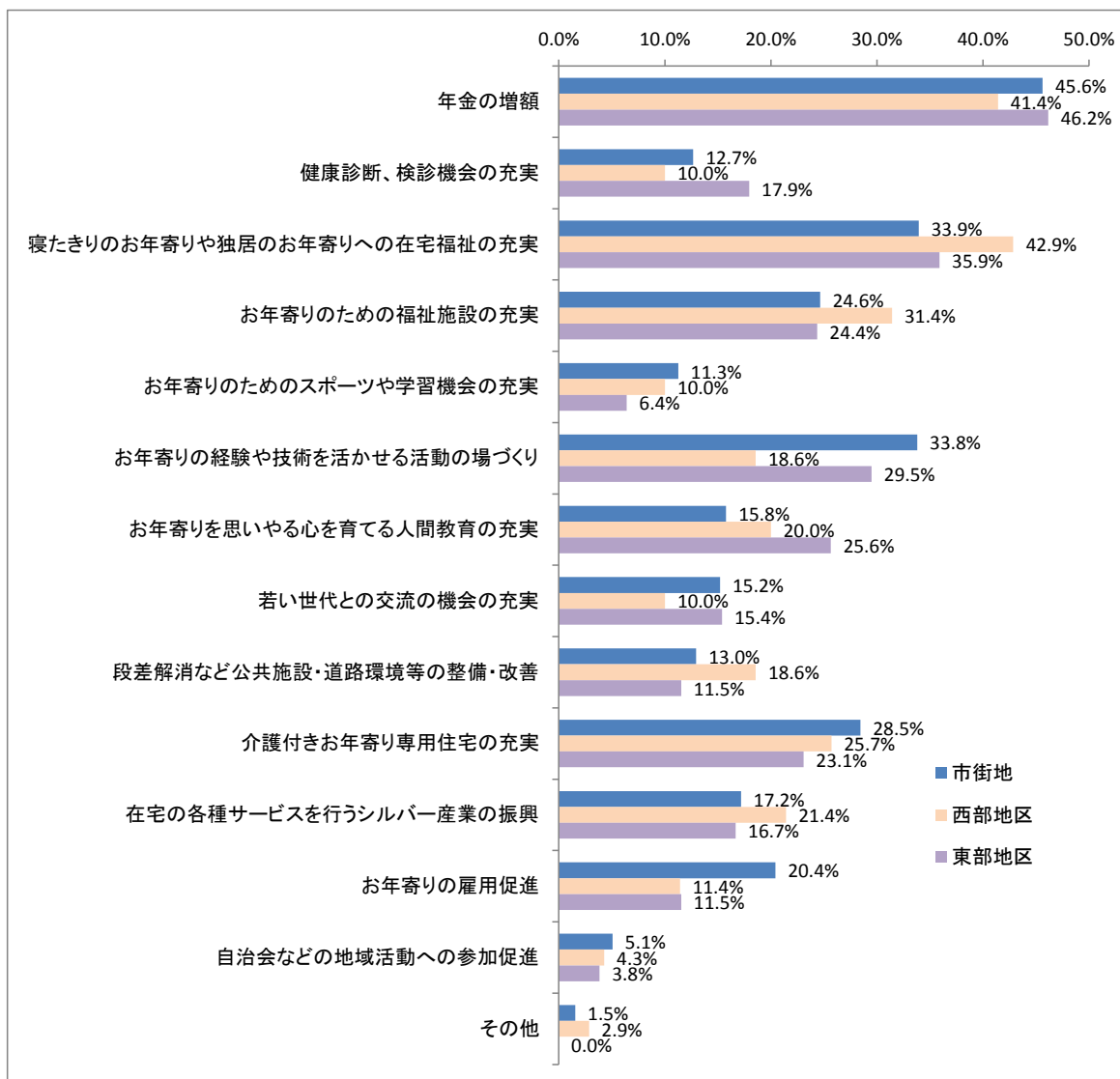
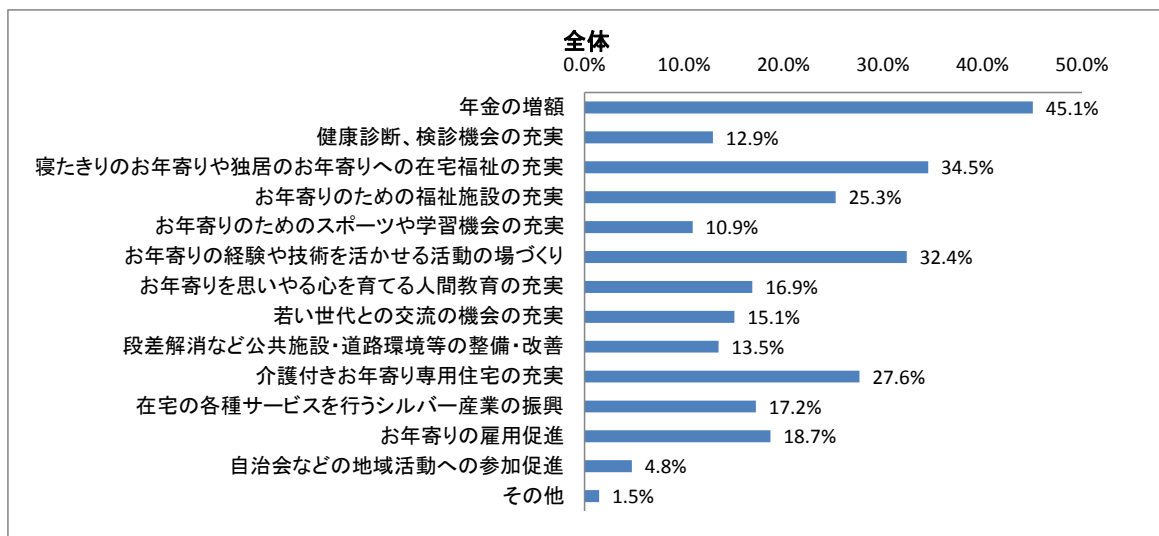
- ・学校教育の充実のための市行政への要望をみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」が多くなっており、地区別には、大きな差はみられていない。



注：本設問は3つまでの選択を求めている

1.6. 高齢者支援について（高齢者にとって重要と思う施策）

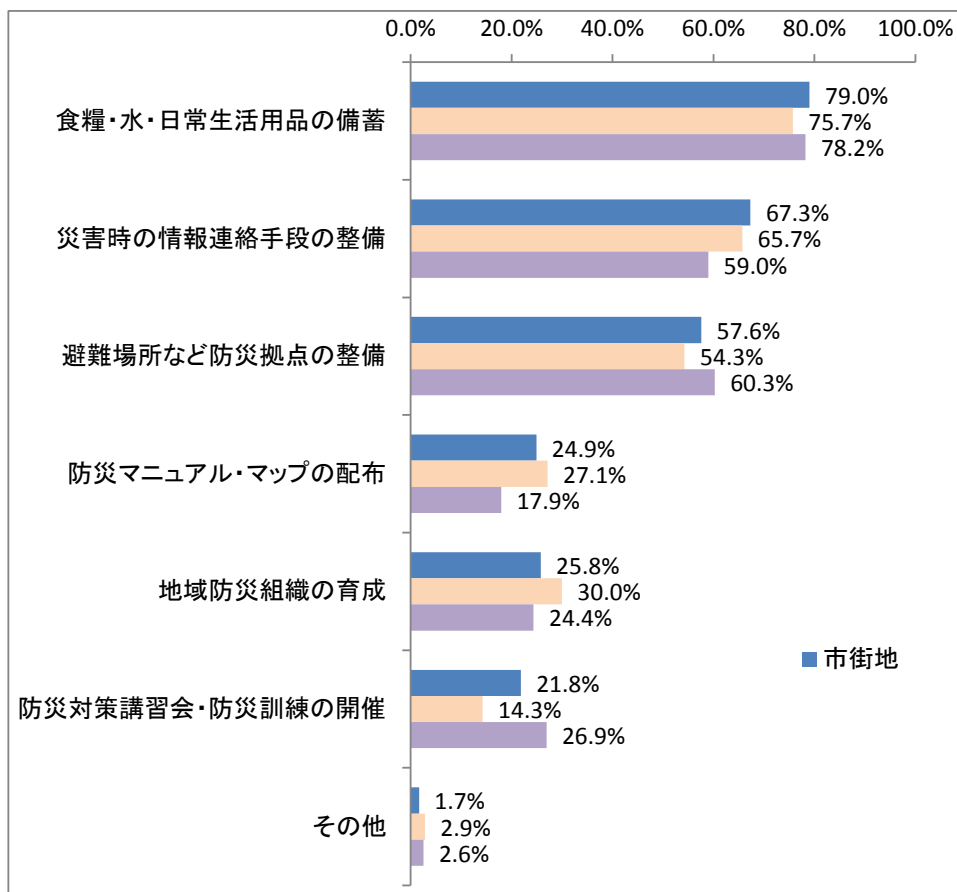
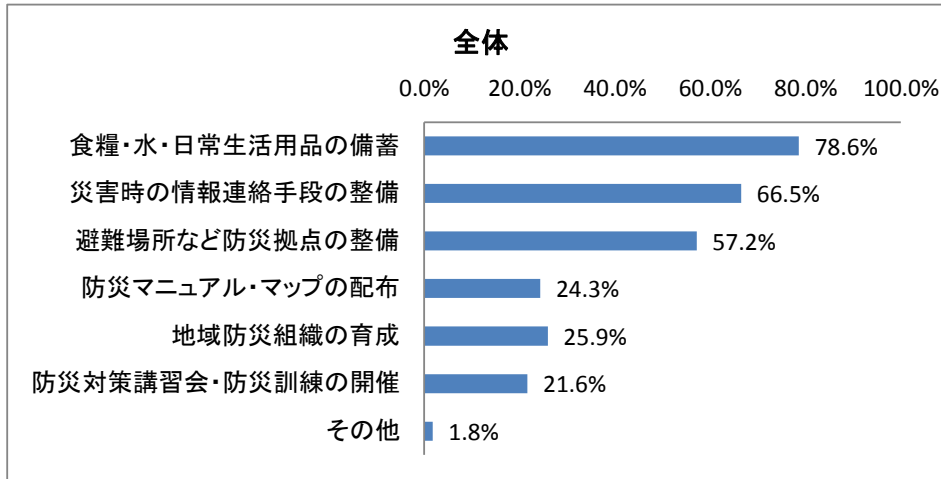
- ・今後の高齢化に向けた支援施策として重要であるとする項目をみると、「年金の増額」が最も多く、次いで、「寝たきりのお年寄りや独居のお年寄りへの在宅福祉の充実」、「お年寄りの経験や技術を活かせる活動の場づくり」、「介護付きお年寄り専用住宅の充実」の順となっている。



注：本設問は3つまでの選択を求めている

17. 防災・減災対策について（防災対策として重要と考えていること）

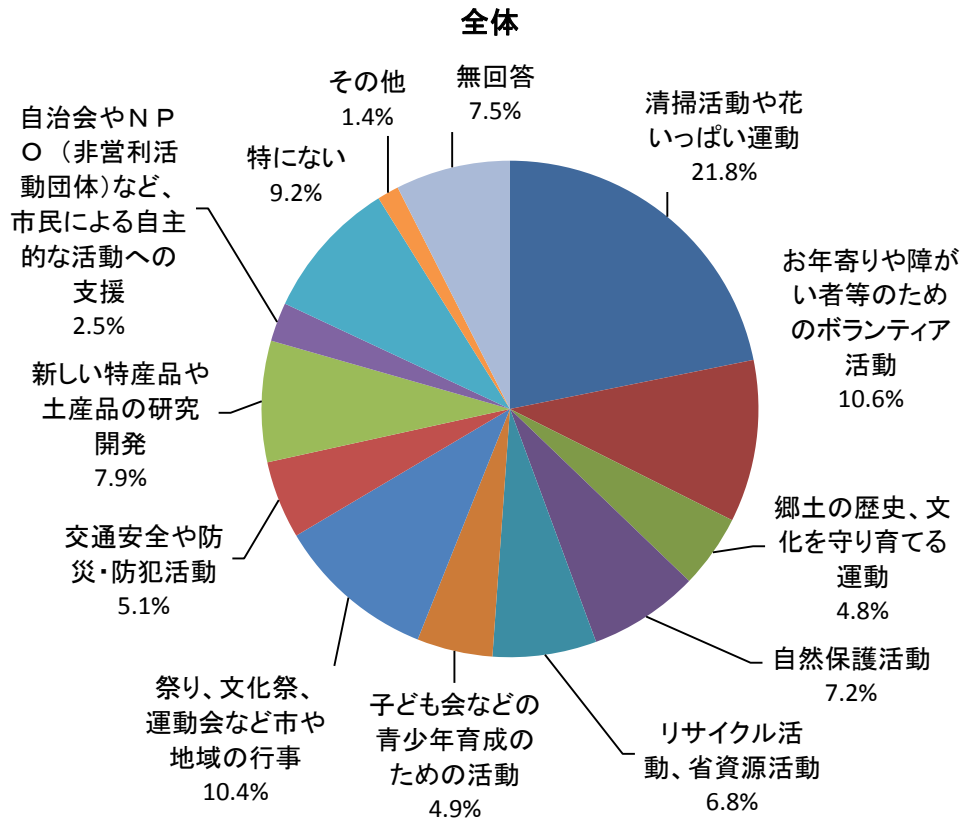
- ・防災・減災対策として重要であるとする項目をみると、各地区ともほぼ同様であり、最も回答割合が高かった項目は、「食糧・水・日常生活用品の備蓄」であり、次いで、「災害時の情報連絡手段の整備」、「避難場所など防災拠点の整備」の順となっている。

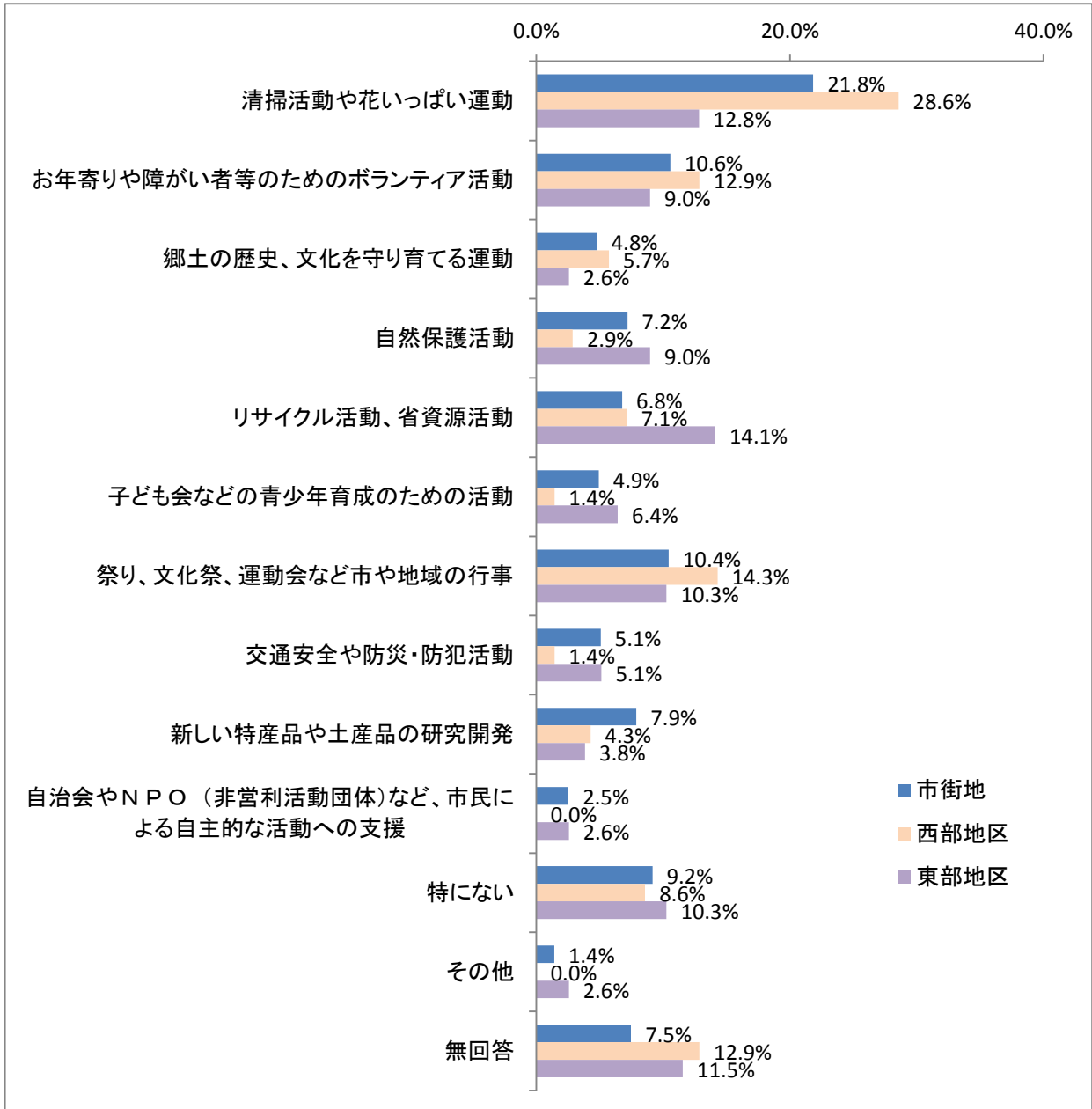


注：本設問は3つまでの選択を求めている

18. 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）

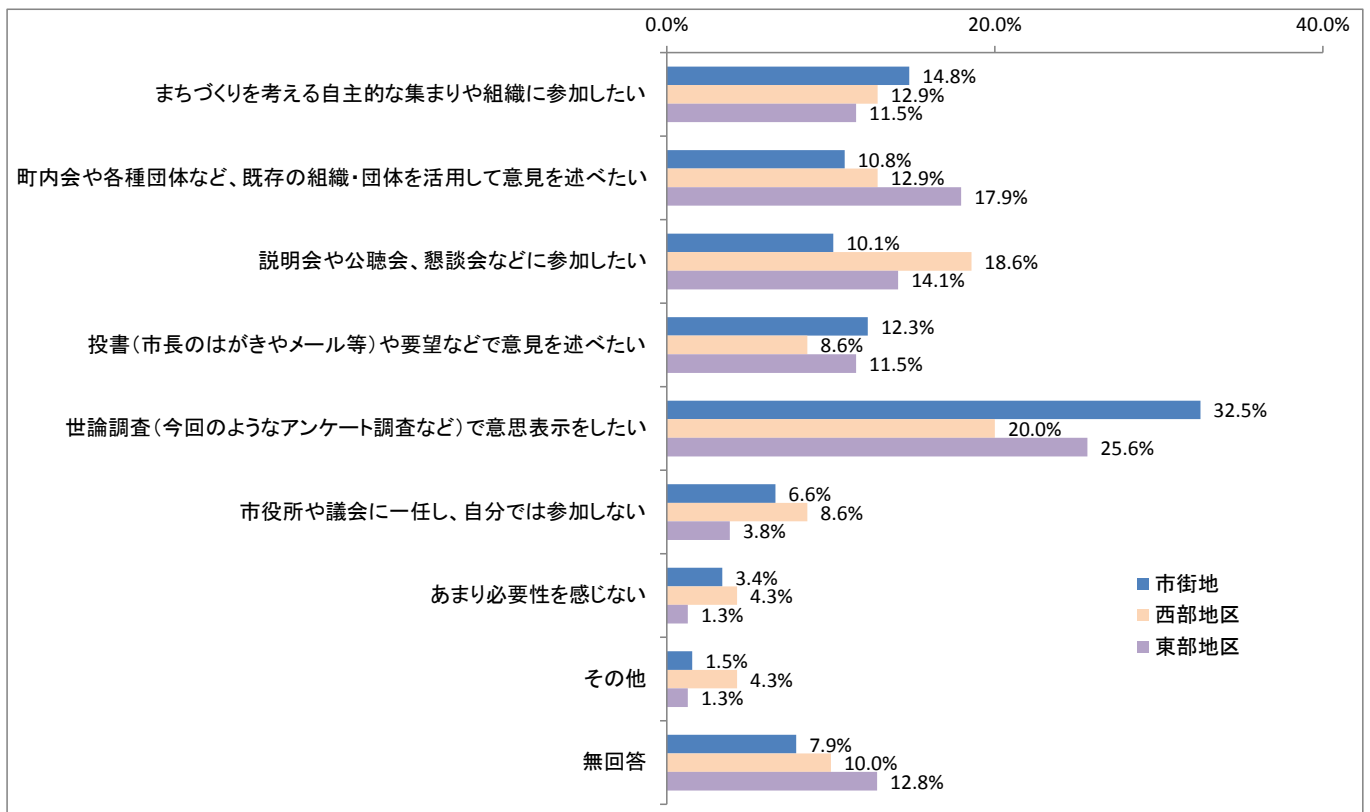
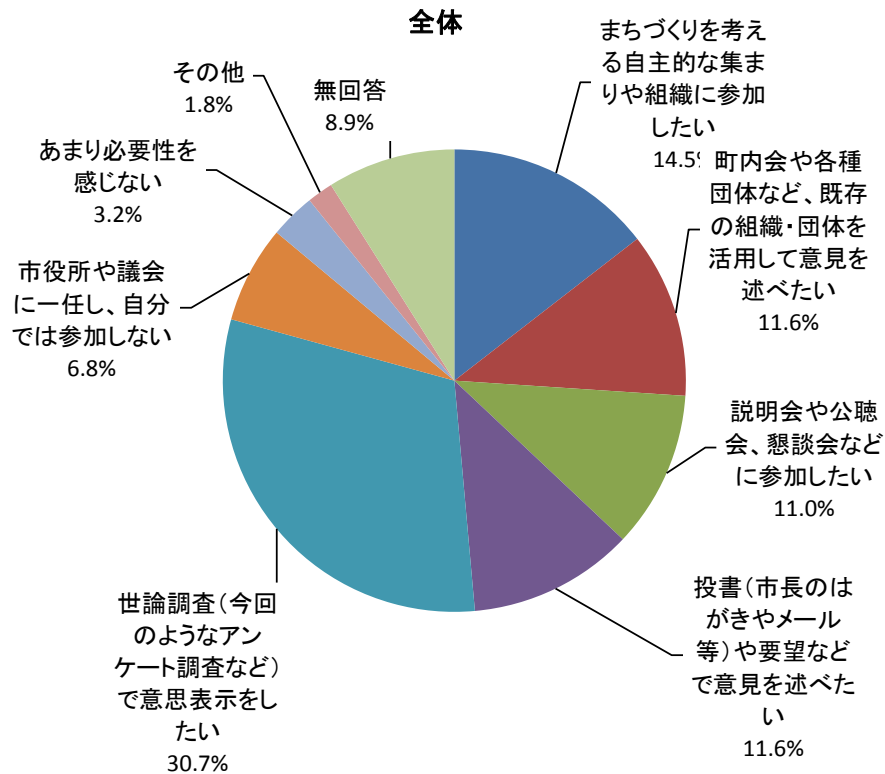
- ・市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に、参加すると回答が最も多かった活動は、回答者全体では「清掃活動や花いっぱい運動」が最も多くなっているが、地区別にみると、東部地区では、「リサイクル活動・省資源活動」が最も多くなっている。
- ・このほか、「お年寄りや障がい者等のためのボランティア活動」や「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」も比較的多いが、他の項目も含めて大きな差はでていない。





19. 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）

・まちづくりのための市民参画の方法についてみると、最も多かったのは、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」とする要望である。このほか、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」、「説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」といった要望も比較的多かった。



「市民意識調査」における住民の地域イメージ形成要因

及び住みよさに関する要因分析について

1. 分析の目的

市民意識調査における住みよさ、定住意識に関する項目に着目し、それらの意識に影響を及ぼす要因を把握することを目的とする。

2. 分析の方法

分析は、数量化Ⅱ類を用いて、目的変数を市民意識調査の間3（居住の満足度）及び間4（定住度）の各設問として、間6（1）～（30）を説明変数とした分析を地区別に行った。

また、参考として間2（1）～（3）（根室市のイメージ）の形成要因についても分析を行った。

ここで、数量化Ⅱ類とは、目的変数や説明変数が数量データではなく、カテゴリーデータの場合の判別分析であり、例えば、目的変数を間4の定住性とした場合を例とすると、間4の住み続けたいか、住みたくないかの回答が分かれる要因が、間6の（1）～（30）のどの項目に対する満足度評価が影響しているかを把握するための分析方法である。

また、分析にあたっては、地区別集計に伴うサンプル数の減少による精度の確保のために、回答が「思う」、「やや思う」あるいは、「満足」、「やや満足」は、それぞれ「思う」、「満足」のように集約化している。

3. 分析結果

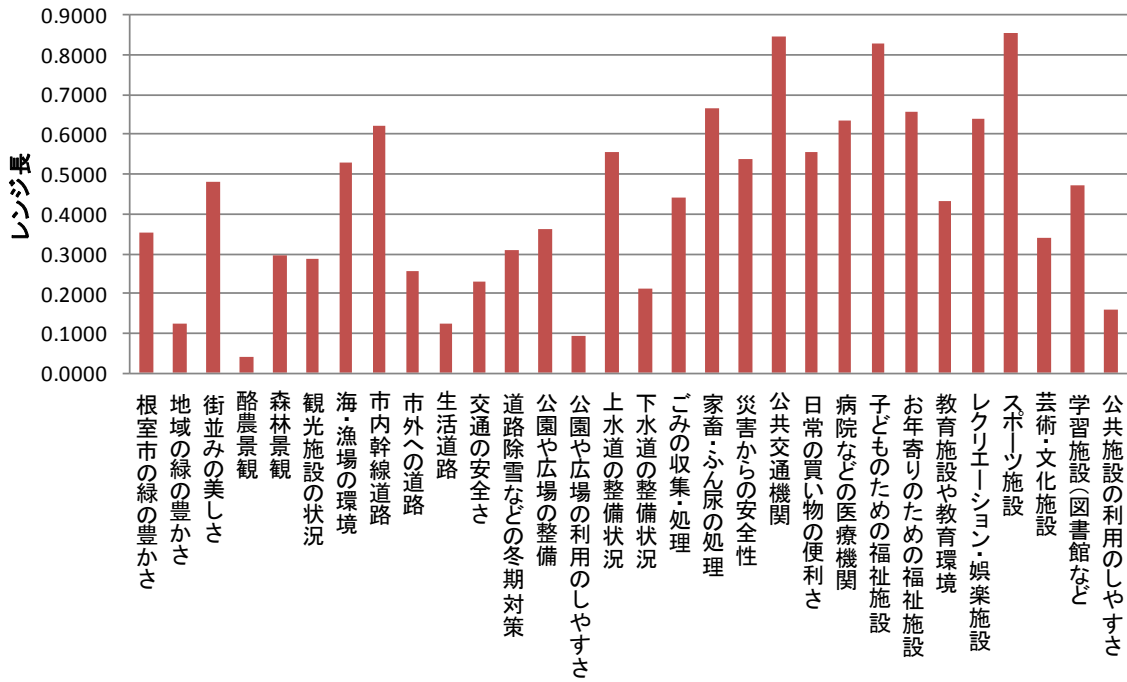
（1）住みよさ意識への影響要因

①市街地

市街地住民の住みよさ意識の形成要因についてみると、「スポーツ施設」、「公共交通機関」、「子どものための福祉施設」の3項目が、強く影響している状況となっている。

市街地住民の住みよさ意識の傾向を概括すると、地域の自然や景観よりも、交通、福祉、スポーツ・レクリエーションといった余暇活動の場など、都市的サービスの充実度合いが影響している状況が把握される。

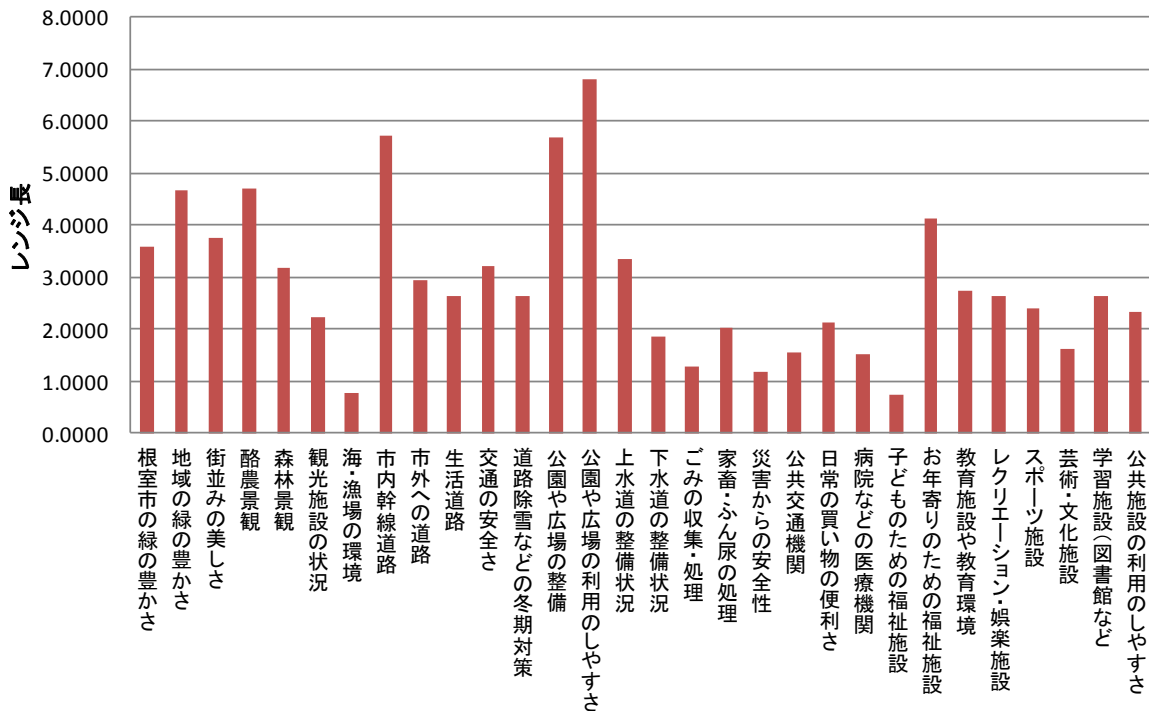
住みよさ意識の形成要因(市街地)



②西部地区

西部地区住民の住みよさ意識の形成要因についてみると、市街地住民とは明らかな違いがみられており、「公園や広場の利用のしやすさ」が最も影響しているほか、「市内幹線道路」、「地域の緑の豊かさ」、「酪農景観」など、公園や緑といった身近な自然や景観が強く影響している状況が把握される。

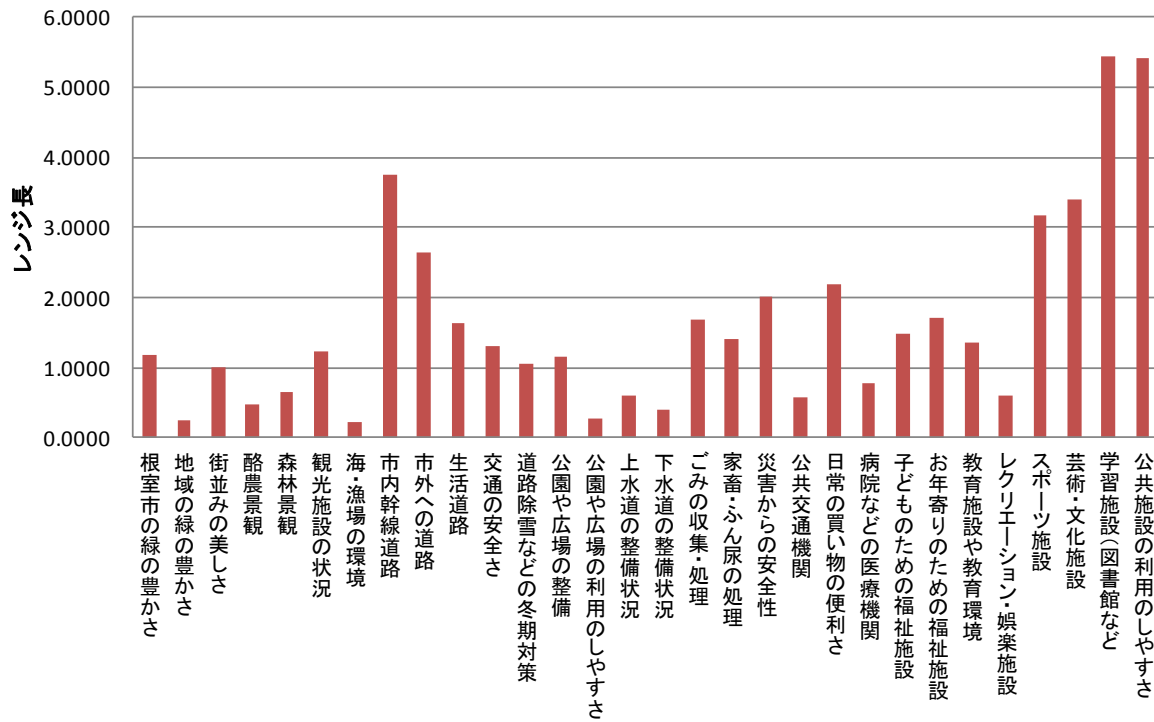
住みよいまち意識の形成要因(西部地域)



③東部地区

東部地区住民の住みよさ意識の形成要因も特徴的であり、「学習施設（図書館）など」、「公共施設の利用のしやすさ」が強く影響しているほか、「スポーツ施設」、「芸術・文化施設」、「市内幹線道路」、「市外への道路」など、余暇活動の場や道路状況が住みよさ意識に影響している状況が把握される。

住みよいまち意識の形成要因(東部地区)



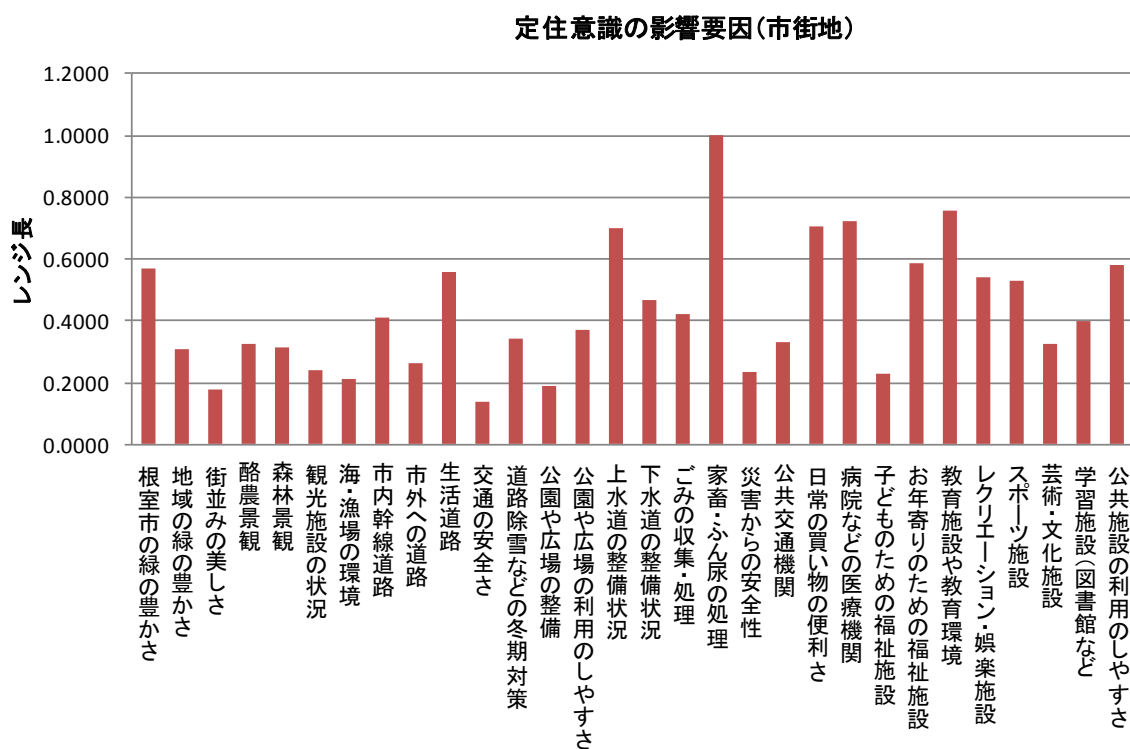
(2) 定住意識への影響要因

本分析は、住み続けたいとする意識と、住み続けたくないとする意識の両面の意識に影響している要因を把握するものであり、市民意識調査の設問5（住み続けたくないとする理由）の集計結果が住み続けたい要因については含まれていない点で異なる。

①市街地

市街地住民の定住意識に対する影響要因をみると、「教育施設や教育環境」、「病院などの医療機関」、「日常の買い物の利便性」、「上水道の整備」などの項目で高くなっている。

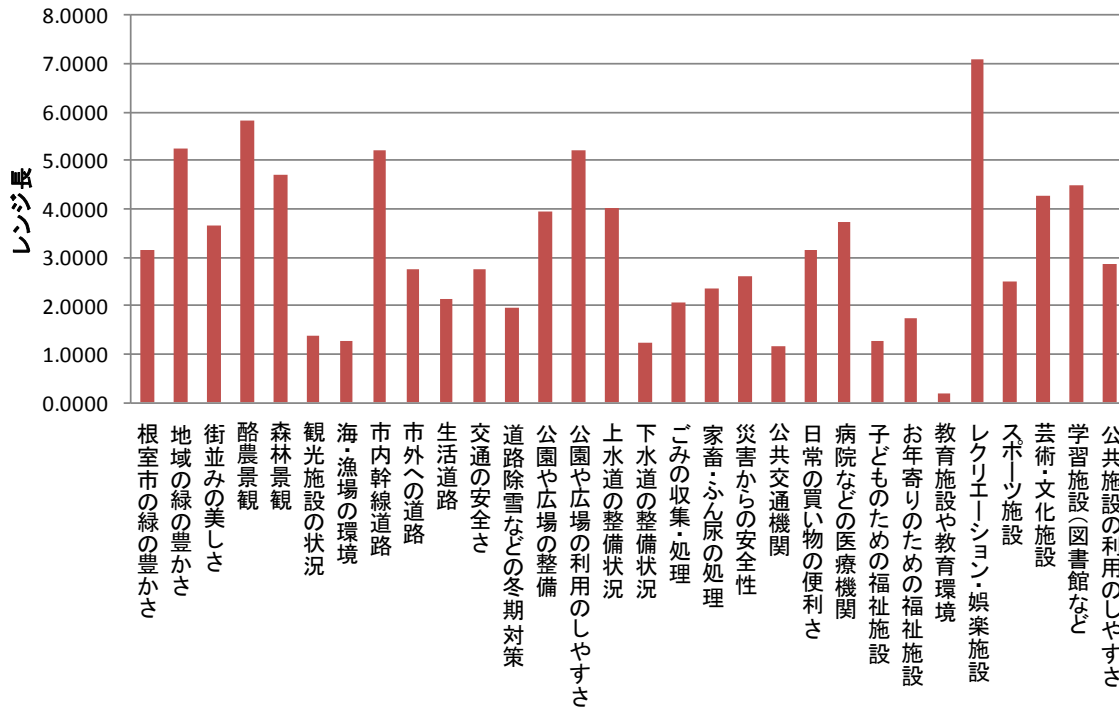
このように、市街地住民においては都市的サービスの中でも、教育、医療、買い物等の生活利便性に対する満足意識が定住意識に大きく影響している状況が把握される。



②西部地区

西部地区住民の定住意識への影響要因についてみると、「レクリエーション施設」が最も影響しているほか、「公園や広場の利用のしやすさ」といった余暇活動の場の整備状況のほか、「酪農景観」、「地域の緑の豊かさ」といった身近な自然や景観が影響要因としてあげられるものの、市街地住民の定住意識に強く影響していた教育、医療等に関してはそれほど影響していない状況が把握される。

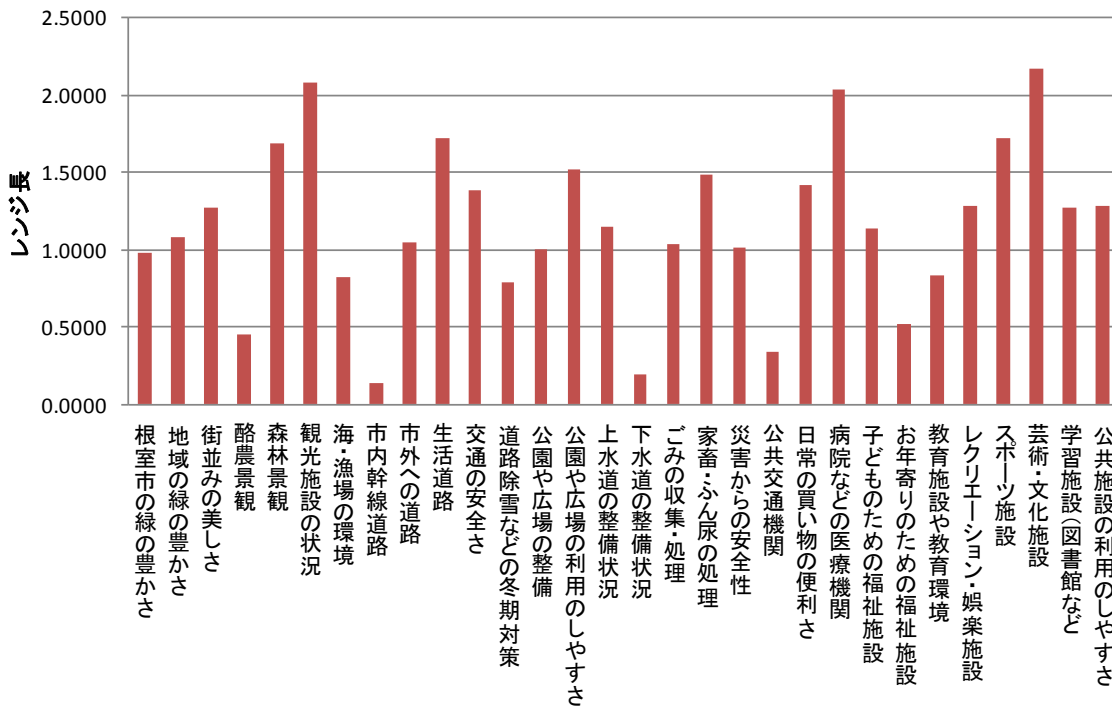
定住意識への影響要因(西部地区)



③東部地区

東部地区住民の定住意識に影響している要因についてみると、「芸術・文化施設」、「スポーツ施設」、「観光施設の状況」といった余暇活動、交流の場の整備状況のほか、「病院などの医療機関」、「生活道路」、「森林景観」など、身近な生活要素から、景観まで幅広く影響している状況が把握される。

定住意識への影響要因(東部地区)



3. 参考（根室市民の市に対するイメージの形成要因について）

ここでは、参考として根室市のイメージについて「明るさ」「清潔さ」「活気」の3項目について、その形成要因を市民の個別要因ごとの満足意識から分析したものである。

総じて、「明るさ」「清潔さ」「活気」のイメージについて、市民の意識として明確な基準がなく、あいまいな意識形成が反映されており、それぞれのイメージ形成の特徴が明らかではないことから、ここでは参考としてその結果を掲載した。

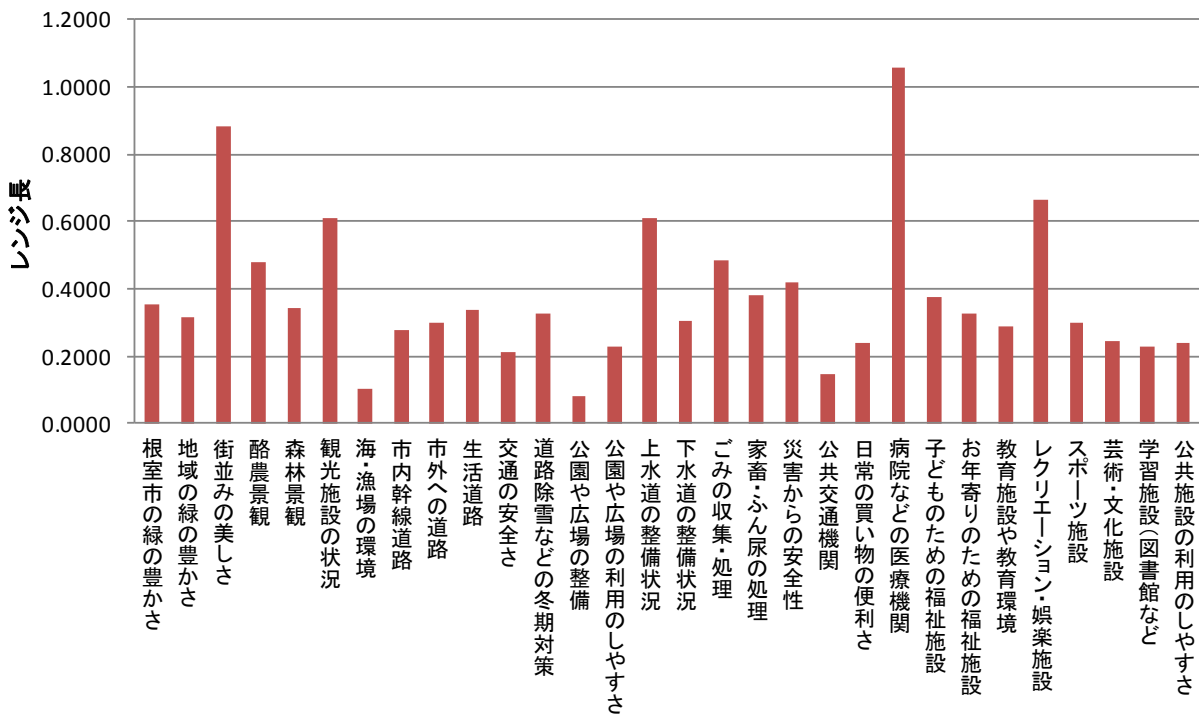
（1）根室市の明るさのイメージ形成要因

本分析は、根室市が「明るい」というイメージを「持つ」、「持たない」に影響を及ぼす要因を地区別に分析した。

①市街地

市街地住民の根室市に対する明るさイメージは、「病院などの医療機関」の状況に対する満足度が最も影響しており、次いで、「街並みの美しさ」、「レクリエーション・娯楽施設」の整備状況、「上水道の整備状況」、「ごみの収集・処理」の状況、「酪農景観」の順となっている。

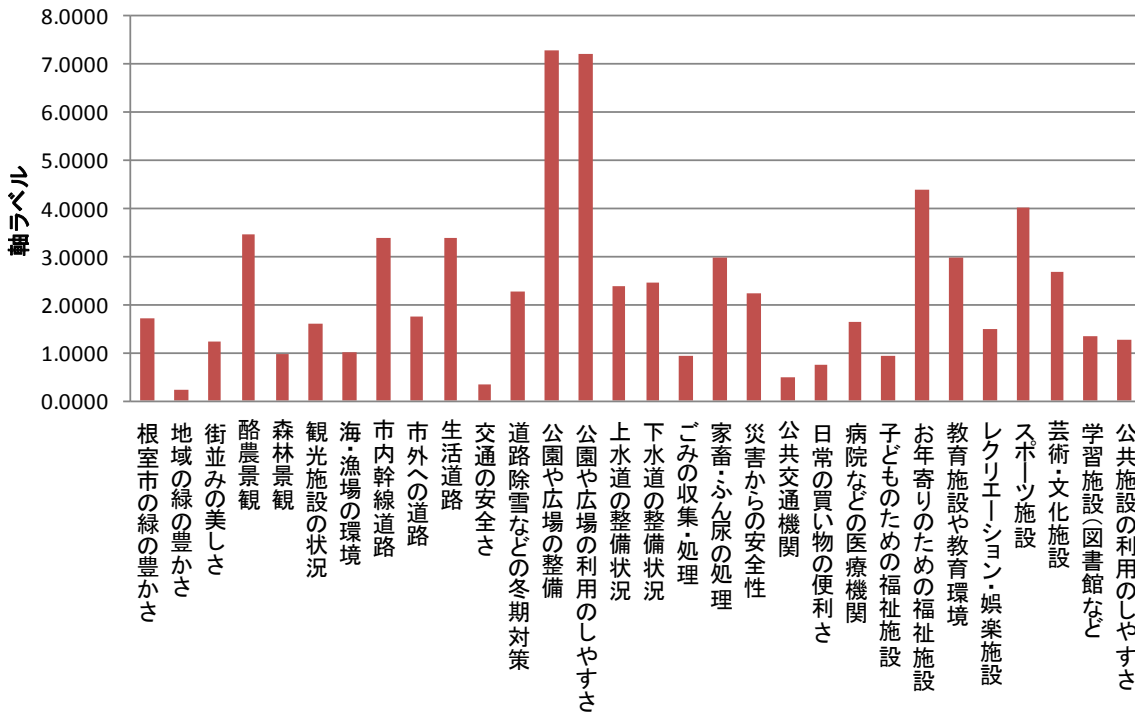
明るさイメージの形成要因(市街地住民)



②西部地域

西部地区住民の根室市の明るさイメージの形成に影響を与えている要因をみると、「公園や広場の整備」が最も大きく、次いで、「公園や広場の利用のしやすさ」となっており、公園や広場の整備が明るさイメージの形成に大きく影響している状況となっている。これに次いで、「お年寄りのための福祉施設」、「スポーツ施設」などとなっている。

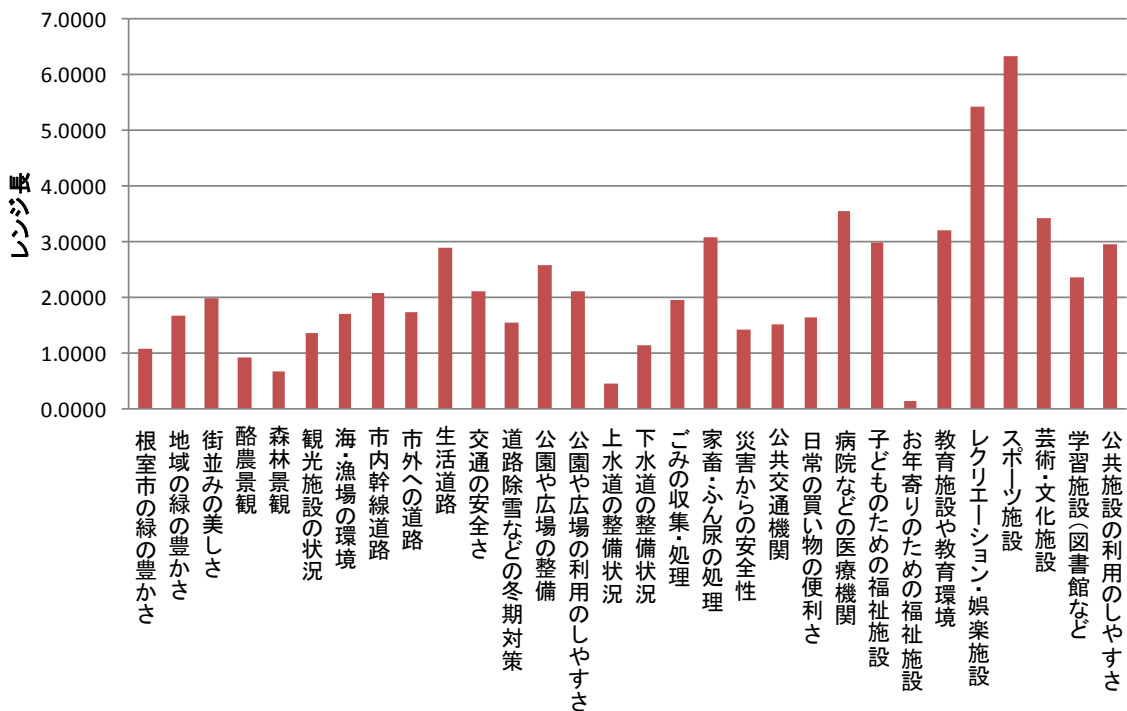
明るさイメージの形成要因(西部地域)



③東部地区

東部地区住民の根室市の明るさイメージの形成に影響を与えている要因をみると、「スポーツ施設」が最も大きく、次いで「レクリエーション・娯楽施設」となっており、この2つの項目に対する満足度の影響が大きい。

明るさイメージの形成要因(東部地区)

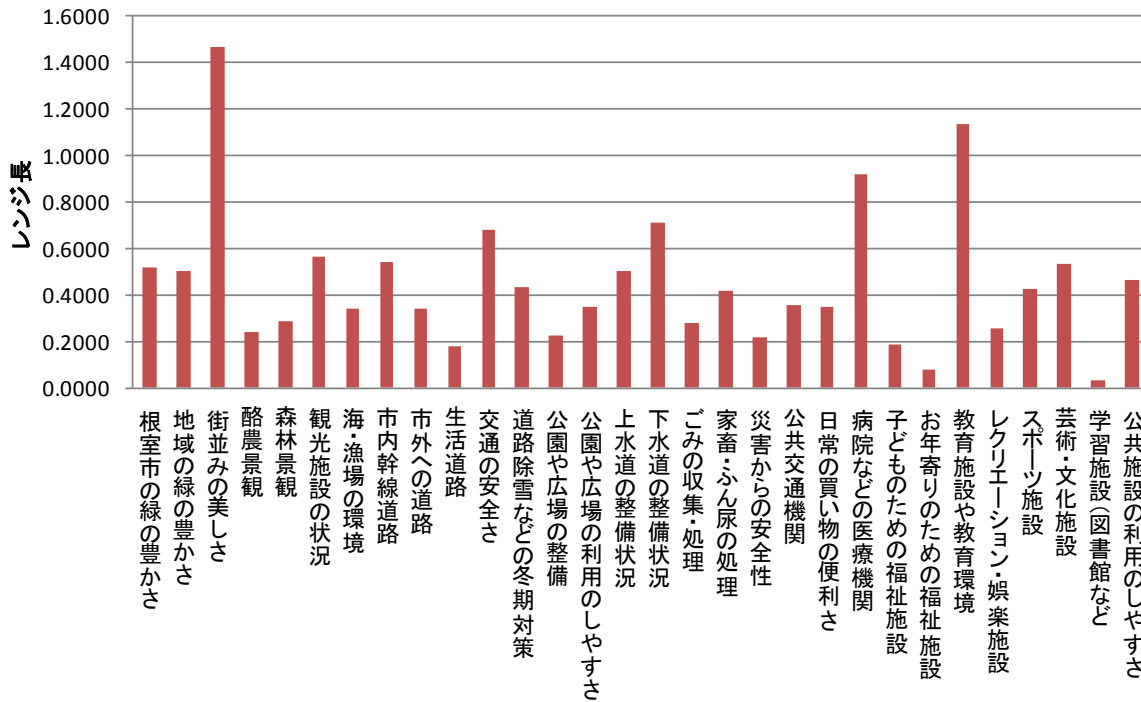


(2) 清潔さイメージの形成要因

①市街地

市街地住民の根室市に対する清潔さイメージは、「街並みの美しさ」に対する満足度が最も影響しており、次いで、「教育施設や教育環境」、「下水道の整備状況」、「交通の安全性」、の順となっている。

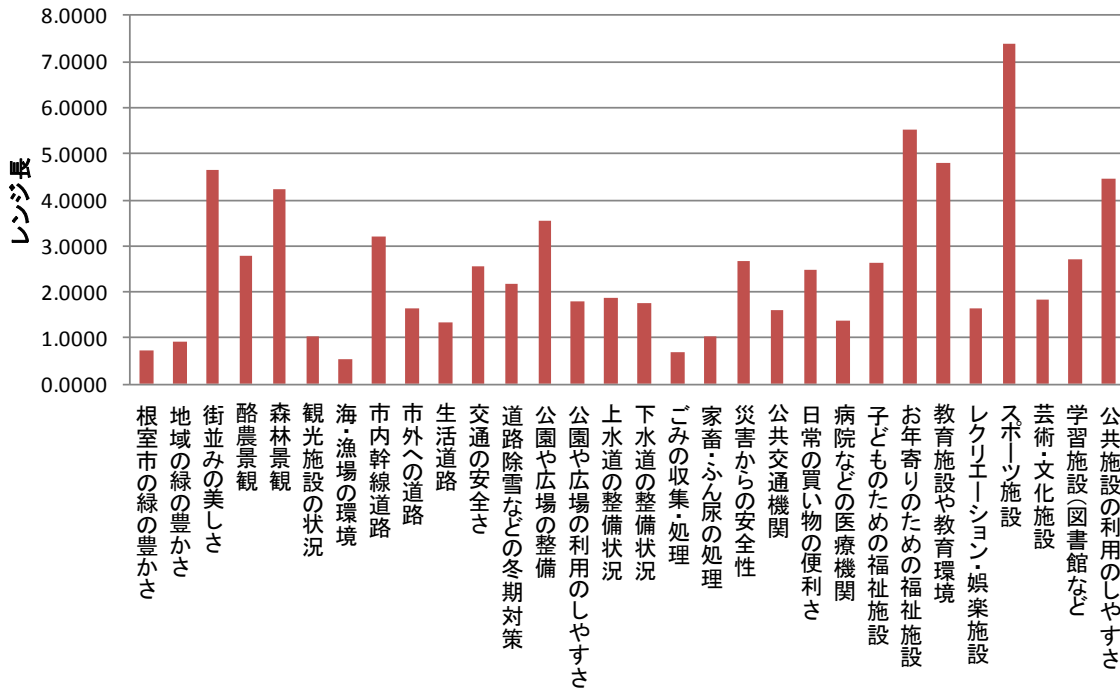
清潔さイメージの形成要因(市街地住民)



②西部地区

西部地区住民の根室市の清潔さイメージの形成に影響を与えている要因をみると、「スポーツ施設」が最も大きく、次いで、「お年寄りのための福祉施設」、「教育施設や教育環境」、「街並みの美しさ」、「公共施設の利用のしやすさ」、「森林景観」の順となっている。

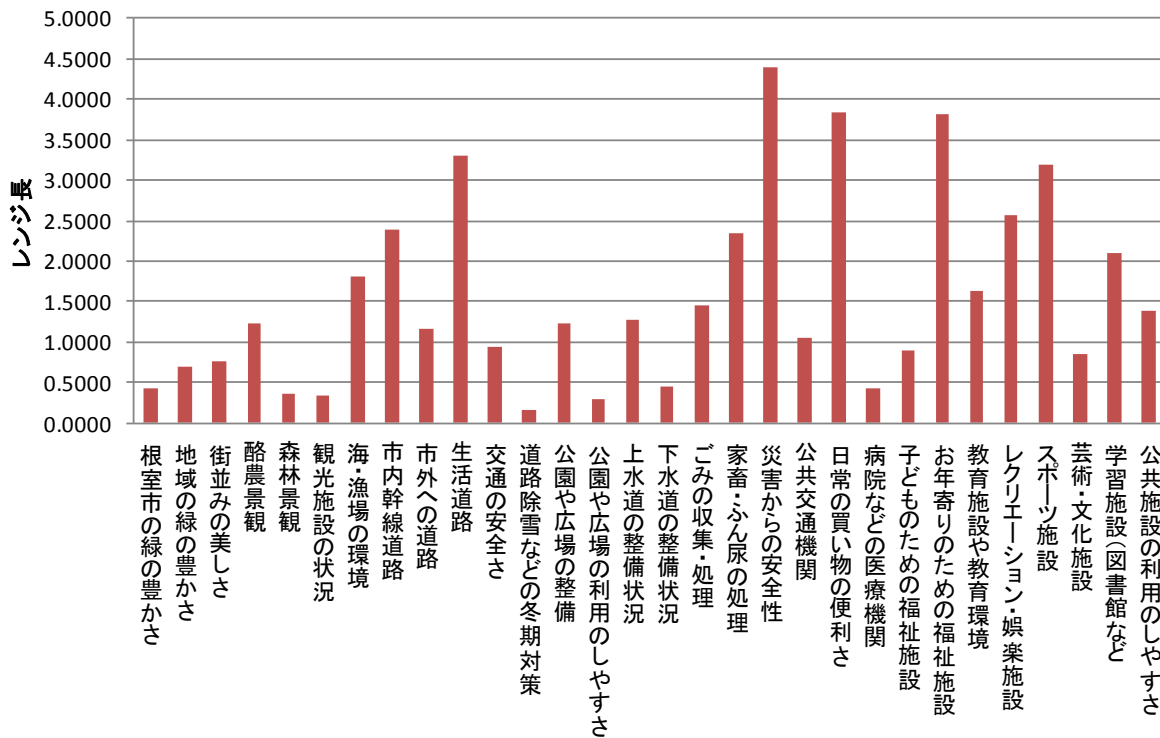
清潔さイメージの形成要因(西部地区)



③ 東部地区

東部地区住民の根室市の清潔さイメージの形成に影響を与えている要因をみると、「災害からの安全性」が最も大きく、次いで、「日常の買い物の便利さ」、「お年寄りのための福祉施設」、「生活道路」、「スポーツ施設」の順となっている。

清潔さイメージの形成要因(東部地区)



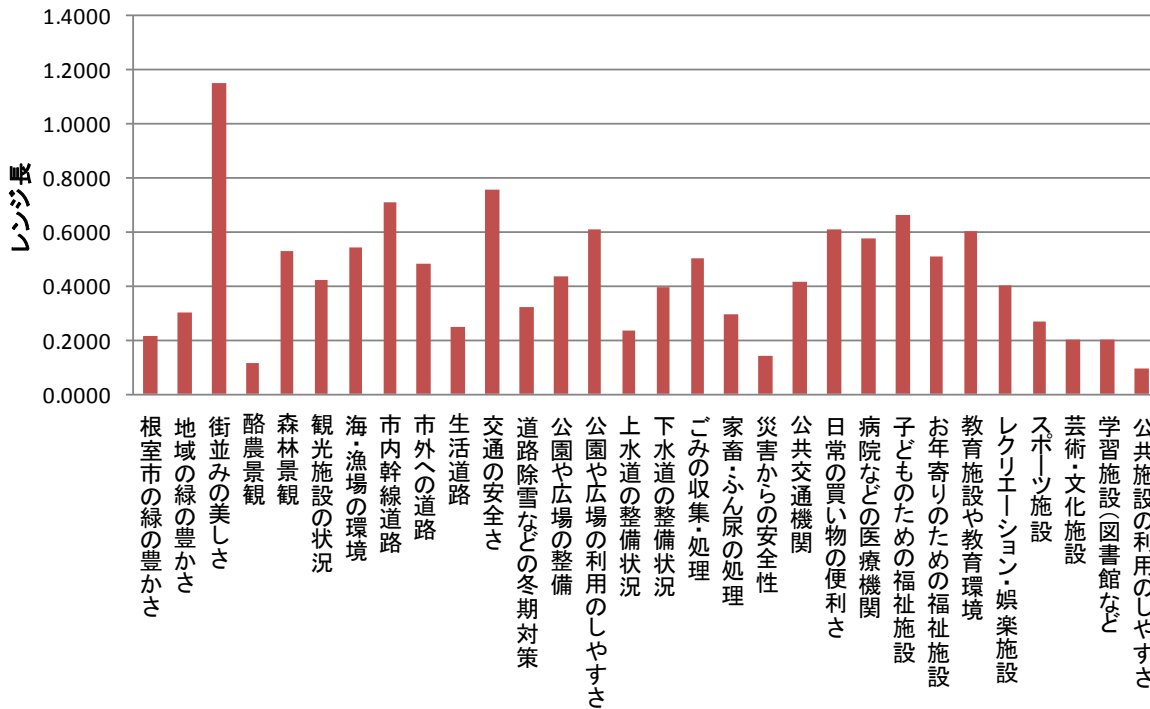
(3) 活気のあるまち・イメージの形成要因

①市街地

市街地住民の根室市に対する活気のあるまち・イメージは、「街並みの美しさ」に対する満足度が最も影響しており、次いで、「交通の安全性」、「市内幹線道路」の順となっている。

活気のあるまちのイメージと清潔さイメージの傾向が似ており、イメージに対する判断基準がいまいである状況が把握される。

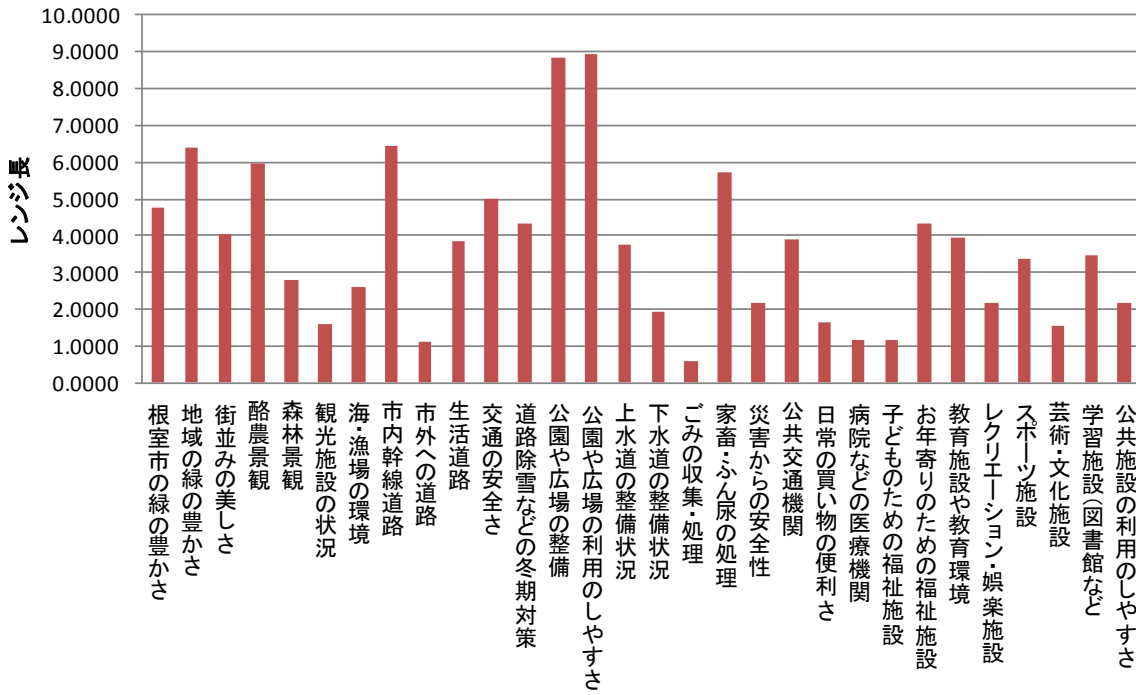
活気のあるまち・イメージの形成要因(市街地)



②西部地区

西部地区住民の根室市の清潔さイメージの形成に影響を与えている要因をみると、「公園や広場の利用のしやすさ」及び「公園や広場の整備」が高くなっており、活気のあるまち・イメージが公園の利用に影響を受けている状況が把握される。これに次いで、「市内幹線道路」、「地域の緑の豊かさ」、「酪農景観」の順となっている。

活気のあるまち・イメージの形成要因(西部地区)



③東部地区

東部地区住民の活気のあるまち・イメージの形成に影響を与えている要因をみると、「スポーツ施設」が最も大きく、次いで、「家畜・糞尿の処理」、「子どものための福祉施設」、「公共施設の利用のしやすさ」、「芸術・文化施設」、「地域の緑の豊かさ」の順となっているなど、スポーツ、文化・芸術をはじめとする公共施設の整備に影響を受けている状況が把握される。

活気のあるまち・イメージの形成要因(東部地区)

